

○愛知大学学則

1949年 4 月 1 日

制定

全面改正 1984年 4 月 1 日

最終改正 2026年 4 月 1 日

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。

(自己点検及び評価)

第 1 条の 2 本大学は、その教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するために、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

(学部及び学科)

第 2 条 本大学に、次の学部及び学科を置く。

文学部

人文社会学科

心理学科

歴史地理学科

日本語日本文学科

経済学部

経済学科

国際コミュニケーション学部

英語学科

国際教養学科

法学部

法学科

経営学部

経営学科

会計ファイナンス学科

現代中国学部

現代中国学科

地域政策学部

地域政策学科

第2条の2 前条の各学科における教育研究上の目的は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 文学部

イ 人文社会学科

文学・哲学・歴史・社会・芸術などの分野の幅広い基礎知識を総合的かつ領域横断的に習得し、多面的かつ広範な視野を獲得するとともに、各専攻の専門的な学習と卒業論文作成や卒業制作を通じて、テキストを読解し分析する力、ものごとを自ら考え新たなものを創造し表現する力を培い、批判力や他者と対話する力を育てる。これらを通じて、文化や社会に対する造詣をもち、学校教育、社会教育の場で指導的立場に立ちうる、また自治体、企業等の社会的活動の企画・立案・実施に従事できる人材を養成する。

ロ 心理学科

心と行動の科学を定義とする心理学の基礎的な方法を学び、人間や社会における問題点を自ら発見し、実験や調査、そして臨床研究によってその解決に導くことができる能力を習得させる。これらを通じて、客観的な視点から人間や社会を眺め、深く理解して、その成果を自らの日常生活や社会生活において応用できる人材を養成する。

ハ 歴史地理学科

過去の長い歴史的時間の中における人間や社会のありようやその変遷、人々が生活する地理的空間の存在形態や特質について深く学び、これを基点として、自身でテーマを決め、テキストの読解や現地調査を行って卒業論文を作成し、ものごとを自ら考えて新たなものを創造し表現する力を培う。これらを通して、客観的な視点から人間や社会、風土や環境を眺め、深く理解して、その成果を自らの日常生活や社会生活において応用できる人材を養成する。

ニ 日本語日本文学科

日本語の歴史的成り立ちや特色について学び、それを基点として日本文学や日本語表現学について深く思考することを通じて、日本文化を世界的視野の中で相対化しつつ捉え返すスキルを涵養する。その成果の上に立ち、これから様々な形で直面することとなる日本文化の問題点を敏感に察知し、時に批判的に、時に柔軟に受容していく知性を備えた人材を養成する。

(2) 経済学部経済学科

経済学に関する専門的学芸を教授することに加え、幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性を養うことを目標とする。広い視野から物事を見る能力、判断力を養成し、豊かな人間性、高い倫理観の醸成を図る。そして、既存概念やシステムにとらわれず、課題に対し果敢に取り組み、新しい価値の創造に努める意欲の涵養、養成を目指す。更に、近年の社会動向を配慮し、国際化・情報化時代の中で対応できる人材、地域に貢献できる人材を養成する。

(3) 国際コミュニケーション学部

イ 英語学科

高度な英語運用能力と言語文化に対する深い理解を基礎に、異文化に関心を持ち、言語学、ビジネス、英語教育といった分野に関する体系的な学びを通じて、国際社会において世界の人々と対等に渡り合えるコミュニケーション能力をもつ人材の養成を目指す。

ロ 国際教養学科

異文化理解を通して国際コミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら、国際的な場で活躍できる人材を養成する。そのために英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象に、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を目指す。また国際・国内フィールドワークを実施して具体的な交流に努める。

(4) 法学部法学科

社会的正義の感覚、人権感覚、健全な権利義務意識の涵養を通じて、相対立する利害や価値を衡量調整する能力、法的基準や政治的概念についての基礎理解とそれを論理的かつ事柄に即して展開し具体的な現実に応用できる能力、社会的事象から法的・政治的問題を発見・分析しそれに対処する能力、並びに国際的視野で日本の法及び政治の特質とその問題を把握し将来への展望を開く能力を備えた人材を養成する。

(5) 経営学部

イ 経営学科

経営、流通・マーケティング、情報、国際経営などの諸分野の基本的な知識と専門的な知識を体系的に習得し、経営学についての基礎的・専門的知識をもった有為な社会的人材を養成する。加えて、経営学を中心としつつ、社会科学・人文科学・自然科学の諸科目を幅広く配置して、広い視野と豊かな教養・良識を備えた人材を養成する。更に、グローバル化と情報化に対応するビジネス語学科目、実践的な科目を配置して、語学や情報処理の実務的なスキル・知識を養成する。

ロ 会計ファイナンス学科

経営学の基本的な知識・理論に基づいた高度な会計学やファイナンスの理論、及びビジネスをデザインする能力を習得した、有為な社会的人材を養成する。このための諸科目を専門科目として体系的に配置する。同時に、教養科目群として社会科学・人文科学・自然科学・語学・体育・情報処理などの科目も幅広く配置し、グローバル化、複雑化した社会に対応できる広い視野と豊かな教養とスキルも養成する。

(6) 現代中国学部現代中国学科

現代中国について総合的に教育・研究する学部として、国際的な視野と識見を備えたグローバル人材を養成する。この目的を実現するために、ビジネス・言語文化・国際関係の3コースを設け、中国語教育を基礎に、専門的かつ広範な学修を積み重ね、また現地プログラム、現地研究調査、現地インターンシップ等を通じた実践的・能動的教育を行う。

(7) 地域政策学部地域政策学科

「地域を見つめ、地域を活かす」を学部理念とし、政策学に関する知識を基礎に、地域とその諸問題を深く理解し、まちづくりと持続可能な社会づくりに貢献する人材を養成する。幅広い職業人に必要な教養と地域政策に関する専門知識を学習させ、アクティブ・ラーニングを重視し、地域を分析する技能を修得させる。これらを基礎に、安定的で個性的なまちづくり・社会づくりへ修得した知識と技能をバランスよく対応させるとともに、多様な能力を持つ人々や組織と協力して問題解決に取り組む「地域貢献力」を育成する。

(学生定員)

第3条 本大学の学生定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	収容定員
文学部	人文社会学科	172	688
	心理学科	55	220
	歴史地理学科	70	280
	日本語日本文学科	48	192
	計	345	1,380
経済学部	経済学科	330	1,320
国際コミュニケーション学部	英語学科	115	460
	国際教養学科	115	460
	計	230	920
法学部	法学科	315	1,260
経営学部	経営学科	250	1,000

	会計ファイナンス学科	125	500
	計	375	1,500
現代中国学部	現代中国学科	180	720
地域政策学部	地域政策学科	220	880
	合計	1,995	7,980

(修業年限及び在学年数)

第4条 各学部の修業年限は、4年とする。ただし、学生は、休学期間を除き、8年を超えて在学することはできない。

(大学院)

第5条 本大学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

(専門職大学院)

第6条 大学院に専門職大学院を置く。

2 専門職大学院の学則は、別に定める。

(附属機関)

第7条 本大学に図書館を置く。

2 前項の図書館に関する規定は、別に定める。

第7条の2 本大学に研究所及びその他の附属機関を置く。

- (1) 国際問題研究所
- (2) 中部地方産業研究所
- (3) 総合郷土研究所
- (4) 経営総合科学研究所
- (5) 人文社会学研究所
- (6) 国際中国学研究所
- (7) 東亜同文書院大学記念センター
- (8) 三遠南信地域連携研究センター
- (9) ささしま地域連携研究センター
- (10) 一般教育研究室
- (11) 語学教育研究室
- (12) 体育研究室
- (13) 中日大辞典編纂所

- (14) 学習・教育支援センター
- (15) 教職課程センター
- (16) 情報メディアセンター
- (17) 国際ビジネスセンター
- (18) ボランティアセンター
- (19) キャリア支援センター
- (20) スポーツ支援センター

2 前項の研究所及びその他の附属機関に関する規定は、別に定める。

第2章 職員組織

(学長)

第8条 本大学に学長を置く。

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第8条の2 本大学に副学長を置く。

2 副学長は、学長を補佐し、命を受けて校務をつかさどる。

3 副学長に関する規定は、別に定める。

(学部長)

第9条 本大学に学部長を置く。

2 学部長は、学部を総轄する。

3 複数の学科を設置する学部については、学部長を補佐するために、学部学科長を置くことができる。

(学長補佐)

第9条の2 本大学に学長補佐を置くことができる。

2 学長補佐は、学長を補佐する。

3 学長補佐に関する規定は、別に定める。

(職員)

第10条 本大学に教授、准教授、助教、助手及びその他の職員を置く。

2 本大学に兼任の教員（講師）を置くことができる。

3 前2項に定める教員の任用等に関しては、別に定める。

(教授会)

第11条 本大学各学部に教授会を置く。

2 教授会は、各学部に所属する専任の教授、准教授及び助教をもって組織する。

第12条 教授会は、教育研究に関する次の事項を審議し、学長が決定を行うに際して意見

を述べるものとする。

- (1) 教育課程の編成並びに授業の計画及び実施に関する事項
- (2) 試験に関する事項
- (3) 学生の入学、退学、転学部、転学科、進級、休学及び卒業に関する事項
- (4) 学位の授与に関する事項
- (5) 学生の指導及び賞罰に関する事項
- (6) 教員の教育研究業績の審査に関する事項
- (7) 教育研究の質保証に係る自己点検・評価に関する事項
- (8) 法令並びに学校法人及び大学の諸規程において、教授会の議を経ることを要すると定められた事項

- 2 学長は、前項の決定をするにあたり、教授会の意見を十分に参酌しなければならない。
- 3 教授会は、第1項に定める事項のほか、学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項を審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 前各項のほか、教授会に関しては、別に定める。
(大学協議会)

第13条 本大学に大学協議会を置く。

- 2 次の各号に掲げる事項は、大学協議会の議を経なければならない。
 - (1) 学則の変更に関する事項
 - (2) 大学卒教員の人事に関する事項
 - (3) 各学部教授会の決定事項のうち前条第2項により大学協議会が承認すべき事項
 - (4) その他、全学の教学に関する重要な事項
- 3 前各項のほか、大学協議会に関しては、別に定める。

第3章 教育課程

(授業科目)

第14条 授業科目の名称及び単位数は、別表に掲げるとおりとする。ただし、年度により教授会の議を経て、授業科目の一部を開講しないこと及び本条別表以外の授業科目を特別に開講することがある。

- 2 授業科目の履修に関する規定は、別に定める。
(授業の方法)

第14条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利

用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

- 3 第1項の授業を外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。
- 4 文部科学大臣が別に定めるところにより、第1項の授業を校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 5 第2項の規定により、多様なメディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段によって行う。
- 6 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

(授業科目の単位数)

第15条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合には、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して別に定める。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
 - 3 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、教育上必要があると認められる場合には、この期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(成績評価基準等の明示等)

第15条の2 本大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示する。

- 2 本大学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第15条の3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施する。

(他の大学又は短期大学における修得単位の取扱い)

第16条 教育上有益と認めるときは、本大学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項の規定により修得した単位は、教授会の議に基づき30単位を限度として本大学において修得したものとして取扱う。ただし、現代中国学部ダブルディグリー・プログラム参加学生の修得単位の取扱いについては、別に定める。

4 他の大学又は短期大学における修得単位の認定に関する規定は、別に定める。

(休学期間中に外国の大学において修得した単位の取扱い)

第16条の2 前条の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、本大学の定めるところにより学生が休学期間中に外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、休学期間が半年間では4単位まで、1年間では8単位までとし、通算では8単位を上限とする。ただし、前条により与えることができる単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

3 休学期間中に外国の大学において修得した単位の認定に関する規定は、別に定める。

(入学前の既修得単位の取扱い)

第17条 教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、30単位を限度とする。

3 既修得単位の認定に関する規定は、別に定める。

(教育職員免許状とその履修方法)

第18条 各学部及び学科に教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程(以下「教職課程」という。)を置く。

2 前項の免許状の種類は、別表のとおりとする。

3 第1項の課程の教科及び教職に関する科目の授業科目及び単位数は別表のとおりとする。

4 免許状を取得するための履修方法等については、別に定める。

(司書及び司書教諭)

第19条 司書及び司書教諭の所要資格を得させるに必要な授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

- 2 司書及び司書教諭の資格を取得するための履修方法等については、別に定める。
(学芸員)

第20条 学芸員の所要資格を得させるに必要な授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

- 2 学芸員の資格を取得するための履修方法等については、別に定める。
(履修登録の手続)

第21条 学生は、履修しようとする授業科目を選択し、履修登録の手続をとらなければならない。

- 2 履修登録の手続は、毎学期初めの指定する時期に行うものとする。

第4章 試験、卒業及び学位

(試験及び成績)

第22条 春学期末又は秋学期末において、所定の履修科目について試験を行う。ただし、平常の成績をもって試験に代えることを認められた授業科目については、この限りでない。

- 2 前項の定期試験のほかに、必要があるときは臨時に試験を行うことがある。

第23条 成績評価は、S、A、B、C及びFで示し、S、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。

- 2 履修科目の試験に合格した者には、所定の単位を与える。
- 3 試験及び成績評価に関する規定は、別に定める。

(卒業に必要な単位)

第24条 各学部の卒業に必要な単位は、別表に掲げるとおりとする。

(進級の要件)

第24条の2 文学部にあつては、在学期間が1年に満たない場合、又は1年次までの修得単位数が22単位に満たない場合2年次に、経営学部にあつては、2年次までの修得単位数が48単位に満たない場合3年次に、進級することができない。

- 2 進級に関する規定は、別に定める。

(卒業の要件)

第25条 卒業の要件は、本大学に4年以上在学し、卒業に必要な単位を修得していなければならない。

- 2 前項に規定する卒業の要件として修得すべき単位のうち、第14条の2第2項の授業の方法により修得した単位数は、60単位を超えてはならない。ただし、第3年次編入学者

については、30単位を超えてはならない。

- 3 第1項の規定にかかわらず、法学部にあつては、優秀な成績を修めた者について、卒業の要件は、本大学に3年以上在学し、卒業に必要な単位を修得していることとすることができる。
- 4 前項に関する必要な事項は、別に定める。

(学位)

第26条 卒業の要件を備えた者には、教授会の議を経て卒業の資格を認定し、学士の学位を授与する。

- 2 学士の学位に付する専攻分野の名称は、その学部又は学科に従つて、別表に掲げるとおりとする。

第5章 入学、学籍の取得、編入学、転学、留学、休学、退学及び除籍

(入学の時期)

第27条 入学の時期は、毎学年の初めとする。

(入学資格)

第28条 本大学の学部1年次に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で次のいずれかに該当し18歳に達したもの
 - イ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ロ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ハ 文部科学大臣の指定した者
 - ニ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
 - ホ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ヘ 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

- 2 第55条の懲戒による退学者は、入学の資格を有しない。

(入学試験)

第29条 入学志願者に対しては、入学試験を行う。

第30条 入学志願者は、所定の書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに提出しなければならない。

(入学の手続)

第31条 入学を許可された者は、誓約書、保証書、その他大学の必要とする書類を指定の期日までに提出しなければならない。

2 保証人は、父若しくは母又はその他の成年者で独立して生計を営む者でなければならない。

3 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負う。

(学籍の取得、二重学籍の禁止等)

第31条の2 前条の入学の手続を終えた者は、本大学の学生として学籍を取得する。

2 在籍中は学位取得のために他の大学等に同時に籍を置くこと（以下「二重学籍」という。）はできない。ただし、本大学と他機関との間で締結された協定等に基づく学籍の取得に関しては、この限りでない。

(編入学)

第32条 本大学に編入学（転入学を含む。）を志願する者があるときは、試験を行い、教授会の議を経て相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 大学を卒業した者又は2年以上在学し、所定の単位を修得した者

(2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者で、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有するもの

(4) 外国において、学校教育における13年以上の課程を修了した者

(5) その他前各号に規定する者と同等以上の学力があると本学が認めた者又は文部科学大臣が指定した者

3 第1項の規定により入学を許可された者の既修得単位について、その一部又は全部を本大学において修得したものとして認定することができる。

(転学、転学部及び転学科)

第33条 次の者は、所属学部長の許可を得なければならない。

(1) 本大学から他の大学に転学を希望する者

(2) 本大学の他の学部の学科に転学部を希望する者

(3) 本大学の同一学部内の他の学科に転学科を希望する者

2 転学、転学部及び転学科に関する規定は、別に定める。

(外国留学)

第34条 学生が外国の大学へ留学する場合には、教授会の議を経て留学させることができる。

- 2 留学の期間は、2年を限度とする。
- 3 前項の留学期間は、1年を限度として本学の修業年限に算入する。
- 4 留学中の学費は、学費等納入規程の定めるところによる。

(休学)

第35条 病気その他やむを得ない事由によって引続き2ヵ月以上修学できない者は、保証人連署のうえ休学願を提出し、許可を得て休学することができる。

- 2 休学期間は、半年間又は1年間とする。
- 3 休学開始の時期は、春学期又は秋学期の初めとする。ただし、入学後最初の学期は原則として休学することができない。
- 4 休学中の学費等は、学費等納入規程の定めるところによる。

第36条 休学期間は、通算3年以内とする。

- 2 休学期間は、在学期間に算入しない。
- 3 休学期間中にその事由が消滅した場合には、許可を得て復学することができる。

(退学)

第37条 病気その他やむを得ない事由によって退学しようとする者は、保証人が連署した退学願を学生証とともに提出しなければならない。

(除籍)

第38条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- (1) 授業料その他所定の学費を指定期日までに納入しない者
- (2) 第4条ただし書に定める在学年数の限度を超える者
- (3) 第34条に定める外国留学の期間の限度を超える者
- (4) 第36条に定める休学期間の限度を超え、なお就学できない者
- (5) 本大学において修学不能と認められ、前条に定める退学の手続きを取らない者
- (6) 死亡又は長期間にわたって行方不明の者

(復籍)

第39条 前条第1号により除籍された者が復籍を願出した場合には、教授会の議を経て許可することがある。

(再入学)

第40条 第37条により退学した者及び第38条第1号により除籍された者が、退学又は除籍の日から2年以内に再入学を願出した場合には、教授会の議を経て許可することがある。

ただし、再入学の時期は、春学期又は秋学期の初めとする。

第6章 学年、学期及び休業日

(学年)

第41条 本大学の学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第42条 学年は、春学期と秋学期に分け、次のとおりとする。

春学期 4月1日より9月15日まで

秋学期 9月16日より翌年3月31日まで

2 学長は、必要がある場合、前項に定める春学期の終期及び秋学期の始期を変更することができる。

(休業日)

第43条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日であっても授業をし、又は試験を実施することがある。

(1) 土曜日

(2) 日曜日

(3) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(4) 創立記念日 11月15日

(5) 夏季休業

(6) 冬季休業

(7) 春季休業

2 前項第5号から第7号の休業の期間に関しては、別に定める。

3 必要がある場合は、学長は第1項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第7章 学費等

(学費等)

第44条 入学検定料、入学金及び授業料その他の学費は、学費等納入規程に定めるとおりとする。

2 前項の学費及びその他の学費等は、学費等納入規程の定めるところにより所定の期日までに納入しなければならない。

3 学費等は、一たん納入した後は返還しない。

第8章 科目等履修生、特別聴講学生、研究生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第45条 本大学の学生以外の者で一又は複数の授業科目について履修を希望する者がある

ときは、教育研究に支障のない限り、教授会等において選考のうえ科目等履修生として履修を許可する。

2 科目等履修生に対する単位の授与については、第23条の規定を準用する。

3 科目等履修生に関する規定は、別に定める。

(特別聴講学生)

第46条 本学において、他の大学又は短期大学（外国の大学及び短期大学を含む。）との協議により、当該大学又は短期大学の学生に特別聴講学生として本学の授業科目を履修させることがある。

2 特別聴講学生に関する規定は、別に定める。

(研究生)

第47条 本大学学部において、特定の専門事項について研究を志望する者があるときは、教授会において選考のうえ、研究生として許可する。

2 研究生に関する規定は、別に定める。

(外国人留学生)

第48条 外国人留学生（以下「留学生」という。）は、次の各号のとおりとし、各号の留学生受入れに関する規定は、別に定める。

(1) 学部留学生

本大学学部に入学を志願し、選考のうえ入学を許可された者

(2) 協定留学生

本大学と外国の大学との協定又は事前の個別的合意に基づき入学を許可された者

2 外国人留学生については、学修の必要に応じて特別の科目として日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

3 協定留学生の授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

第9章 公開講座

(公開講座)

第49条 本大学は、随時に公開講座を設ける。

第10章 学生寮及び厚生保健施設

(学生寮)

第50条 本大学に、学生寮を設けることができる。

(保健室)

第51条 本大学に、教職員及び学生の保健室を設ける。

(厚生施設)

第52条 本大学に、教職員及び学生の厚生施設を設ける。

第11章 奨学

(奨学制度)

第53条 本大学に、奨学制度を設ける。

2 奨学制度に関する規定は、別に定める。

第12章 賞罰

(表彰)

第54条 学生として表彰に値する行為があったときは、表彰することができる。

(懲戒)

第55条 本大学の学則及び諸規程に違反し、その他学生の本分に反すると認められた者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 懲戒は、訓戒、謹慎、停学又は退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対してのみ行う。

(1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者

(2) 学業を怠り成業の見込がないと認められる者

(3) 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反したと認められる者

第13章 学則の変更

(学則の変更)

第56条 この学則の変更は、関係教授会、常務理事会、大学運営会議及び大学協議会の議を経て、学長が決定する。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に定める学則の変更は、理事会の承認を得なければならない。

(1) 学部・学科等の変更に係わる事項

(2) 学生定員の変更に係わる事項

附 則 (制定)

本学則は、昭和24年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和25年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和28年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和31年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和32年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和33年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和34年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和35年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和36年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和38年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和39年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和40年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和41年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和42年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和43年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和45年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和46年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和47年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和49年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和50年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和51年4月1日からこれを施行する。

附 則 (外国語の単位数減少、経済・経営学科専門教育科目の選択拡大に伴う改正)

本学則は、昭和53年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和52年度までの入学生（昭和52年度入学の法経学部第1部及び第2部学生を除く。）については、なお従前の例による。

附 則（社会学科卒業生に社会学士の称号を授与すること並びに経済学科及び経営学科専門教育科目増加に伴う改正）

本学則は、昭和54年4月1日からこれを施行する。

附 則（入学資格の明確化並びに授業科目の新設、変更及び単位数の変更に伴う改正）

本学則は、昭和55年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和54年度までの社会学科入学生及び昭和52年度までの文学科入学生については、なお従前の例による。

附 則（入学資格の明確化、授業科目の新設、変更及び単位数の変更並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、昭和56年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和54年度までの社会学科入学生については、なお従前の例による。

附 則（授業科目の新設、削除及び名称変更に伴う改正）

本学則は、昭和57年4月1日からこれを施行する。

附 則（授業科目の単位数の変更、休学期間の明確化、連絡教授会構成員の増員及び奨学規定の新設並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、昭和58年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和57年度までの入学生の休学し得る期間及び56年度までの文学科入学生の授業科目の単位数については、なお従前の例による。

附 則（単位互換、入学者の既修単位の認定、留学規定の追加及び史学科専門教育科目の必修・選択科目・単位数の変更並びに全面改正）

本学則は、昭和59年4月1日からこれを施行する。ただし、史学科専門教育科目の必修・選択科目及び単位数の変更については、昭和57年度以前の史学科入学生は、なお従前の例による。

附 則（連絡教授会構成員の増員、入学検定料の明示、入学登録料の名称変更及び字句の整理等に伴う改正）

本学則は、昭和60年4月1日からこれを施行する。

附 則（入学検定料改定に伴う改正）

本学則は、昭和60年6月1日からこれを施行する。

附 則（司書授業科目及び資格取得単位数の変更並びに学費改定に伴う改正）

本学則は、昭和61年4月1日からこれを施行する。ただし、司書授業科目及び資格取得

単位について、昭和59年度以前の入学生は、なお従前の例による。

附 則（別表授業科目の新設及び削除、文学部史学科地理学専修の必修・選択科目及び単位数の変更並びに期間を付した定員増等に伴う改正）

- 1 本学則は、昭和62年4月1日からこれを施行する。
- 2 昭和61年度以前の法経学部第1部入学生の授業科目の履修については、なお従前の例による。ただし、授業科目「消費者行動論」は、昭和61年度以前の法経学部入学生のうち、経済学科生及び経営学科生の選択科目として履修を認める。
- 3 昭和60年度以前の史学科地理学専修の入学生は、なお従前の例による。
- 4 第3条の規定にかかわらず、昭和62年度から1992年（平成4年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	40	
	社会学科	60	
	史学科	70	
	文学科	130	
	計	300	
経済学部	経済学科	400	200
法学部	法学科	300	200
経営学部	経営学科	400	
合計		1,400	400

附 則（文学部及び法経学部第1部・同第2部の授業科目及び卒業要件の変更、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の新設、研究生規定の追加、学費改定並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、昭和63年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和62年度以前入学生の授業科目の履修及び卒業要件については、法経学部第2部法学科の「卒業論文」を除き、なお従前の例による。法経学部第2部法学科の「卒業論文」は、昭和62年度以前の入学生についても選択科目とする。

附 則（経済学部1部、経済学部2部、法学部1部、法学部2部及び経営学部の設置に伴う改正）

本学則は、1989年（平成元年）4月1日からこれを施行する。ただし、昭和63年度以前に入学した法経学部第1部及び同第2部の学生の授業科目の履修及び卒業要件は、なお従前の例による。

附 則（入学検定料の改定及び役職名称の変更並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、1989年（平成元年）6月1日から施行する。

附 則（教育職員免許法の一部改正及び学費改定に伴う改正）

- 1 本学則は、1990年（平成2年）4月1日からこれを施行する。ただし、教職課程の授業科目及び修得必要単位数について、1989年（平成元年）度以前に入学した文学部学生及び1988年（昭和63年）度以前に入学した法経学部第1部及び法経学部第2部学生は、なお従前の例による。
- 2 1989年（平成元年）度に入学した経済学部1部、経済学部2部、法学部1部、法学部2部及び経営学部学生の教職に関する専門教育科目の授業科目及び修得必要単位数については、前項ただし書を準用する。

附 則（入学検定料の改定に伴う改正）

本学則は、1990年（平成2年）6月15日からこれを施行する。

附 則（学費の施設設備資金を教育充実費に名称変更することに伴う改正）

本学則は、1990年（平成2年）12月1日からこれを施行する。

附 則（教職課程の正規の課程に高等学校の免許状にかかる教科「地理歴史」及び「公民」を加えること並びに期間を付した定員増に伴う改正）

- 1 本学則は、1991年（平成3年）4月1日からこれを施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、教職課程「地理歴史」及び「公民」の各免許状授与にかかる授業科目及び修得必要単位数については、1990年（平成2年）度入学生より適用する。
- 3 第3条の規定にかかわらず、1991年（平成3年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		1991・1992年（平成3・4年）		1993～1999年（平成5～11年）	
		度		度	
		入学定員		入学定員	
		1部	2部	1部	2部
文学部	哲学科	50		40	
	社会学科	80		60	
	史学科	80		50	
	文学科	140		80	
	計	350		230	
経済学部	経済学科	460	200	360	200
法学部	法学科	400	200	300	200
経営学部	経営学科	460		360	

合計	1,670	400	1,250	400
----	-------	-----	-------	-----

附 則（大学設置基準、学位規則の改正、文学部文学科授業科目の増設、学芸員及び社会教育主事授業科目単位数の変更並びに学費の改定等に伴う改正）

- 1 本学則は、1992年（平成4年）4月1日からこれを施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、第26条の学士の学位の授与については、1991年（平成3年）9月30日卒業生から適用する。

附 則（文学部文学専攻科の廃止に伴う改正）

本学則は、1992年（平成4年）6月10日から施行する。

附 則（自己点検・評価規定の追加、期間を付した定員変更、学期・休業日の一部変更、総合科目の選択化、経済学部授業科目の一部新設、法学部授業科目の履修区分の一部変更、経営学部授業科目単位数の一部変更及び教職課程別表から聴講生の課程を削除することに伴う改正）

（施行期日）

- 1 この学則は、1993年（平成5年）4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第17条別表中一般教育科目「総合科目」の選択化については、1991年（平成3年）度以降の入学生から適用する。
- 3 この学則による改正後の第18条別表中経済学部1部「発展途上国経済論」は1991年（平成3年）度以降の入学生から適用し、経済学部2部「地域経済論」、「発展途上国経済論」の新設及び法学部1部・2部「演習」の選択化は1992年（平成4年）度以降の入学生から適用し、法学部1部・2部「憲法」、「民法1部」の履修区分変更は1993年（平成5年）度以降の入学生から適用し、法学部1部「卒業論文」の選択化は1990年（平成2年）度以降の入学生から適用する。
- 4 第3条及び1991年（平成3年）4月1日施行附則第3項の規定にかかわらず、1993年（平成5年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		1993～1999年（平成5～11年）度	
		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	50	
	社会学科	80	
	史学科	80	
	文学科	140	
	計	350	

経済学部	経済学科	460	200
法学部	法学科	400	200
経営学部	経営学科	460	
合計		1,670	400

附 則（文学部史学科教職課程科目の新設に伴う改正）

- 1 この学則は、1993年（平成5年）12月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の第18条別表中教職課程科目「地誌学」は、1990年（平成2年）度以降の入学生から適用する。

附 則（編入学、休学、科目等履修生及び特別聴講学生に関する規定の整備並びに学費の改定等に伴う改正）

この学則は、1994年（平成6年）4月1日から施行する。

附 則（入学検定料改定に伴う改正）

この学則は、1994年（平成6年）6月15日から施行する。

附 則（3年次編入学定員設定による学生定員変更、海外短期語学セミナー参加学生の単位認定による授業科目の新設と卒業要件の変更、経済学部1部・2部の授業科目の名称変更及び法学会・経済学会・経営学会の大学会計への帰属による「学会費」の徴収方法の変更等に伴う改正）

- 1 この学則は、1995年（平成7年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、海外短期語学セミナー参加学生の単位認定による新設授業科目の履修及び卒業要件については、1994年（平成6年）度の参加学生にも適用する。
- 3 この学則による改正後の第18条別表中経済学部1部「比較経済体制論」は1993年（平成5年）度以降の入学生から適用し、経済学部2部「比較経済体制論」は1994年（平成6年）度以降の入学生から適用する。

附 則（学費の改定、授業科目区分の変更、2学期制による授業科目の変更、各学部授業科目履修規程及び試験及び成績評価に関する規程の制定による条項の整理等に伴う改正）

（施行期日）

- 1 この学則は、1996年（平成8年）4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 1996年（平成8年）3月31日現在本大学に在学中の者（以下この項について「在学者」という。）及び1996年（平成8年）4月1日以降において在学者の属する年次に学士入学、再入学または転入学する者については、なお従前の例による。ただし、改正前学則第17条及び同条別表に規定する一般教育科目分野別の単位修得要件については、各学部

ともこれを廃し合計8科目32単位以上の修得をもって足りるものとする。

附 則（現代中国学部の設置、履修届の提出時期と成績評価方法の変更、文学部、経済学部1部、法学部1部及び法学部2部の授業科目の変更、司書、学芸員及び社会教育主事に関する専門教育科目の授業科目の変更と資格修得要件単位数の変更並びに学費の改定等に伴う改正）

（施行期日）

- 1 この学則は、1997年（平成9年）4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 前項の規定にかかわらず、1996年（平成8年）度以前の入学生の授業科目の履修については、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表文学部4専門共通選択科目（各学科共通）、経済学部1部経済学科3専門教育科目中「情報管理」、「生涯学習概論Ⅰ」、「生涯学習概論Ⅱ」及び「博物館概論」並びに法学部2部法学科3法学教育科目中「海外セミナーBⅠ」、「海外セミナーBⅡ」、「外国理解BⅠ」及び「外国理解BⅡ」は、1996年度以降の入学生から適用する。
- 4 第2項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第20条第1項別表学芸員及び社会教育主事に関する授業科目表1学芸員に関する専門教育科目及び社会教育主事に関する専門教育科目中「生涯学習概論Ⅰ」、「生涯学習概論Ⅱ」、「博物館概論」、「博物館学各論Ⅰ」、「博物館学各論Ⅱ」、「教育学概論」、「人権教育論」及び「博物館実習Ⅱ」並びに第19条第1項別表司書及び司書教諭に関する授業科目表1司書に関する専門教育科目は、1997年（平成9年）3月31日現在本大学に在学中の者にも適用する。
- 5 第3条及び1993年（平成5年）4月1日施行附則第4項の規定にかかわらず、1997年（平成9年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	50	
	社会学科	80	
	史学科	80	
	文学科	140	
	計	350	
経済学部	経済学科	460	200
法学部	法学科	380	200
経営学部	経営学科	430	

現代中国学部	現代中国学科	180	
合計		1,800	400

附 則（国際コミュニケーション学部の設置、教養部組織の廃止、文学部、経済学部 1 部、経済学部 2 部、法学部 1 部、法学部 2 部、経営学部の授業科目の変更、法学部 1 部の卒業要件の変更及び字句の整理等に伴う改正）

- この学則は、1998年（平成10年）4月1日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表文学部、経済学部 1 部、経済学部 2 部、法学部 1 部、法学部 2 部、経営学部、現代中国学部の授業科目の履修については、1996年度以降入学生から適用する。
- 第3条の規定にかかわらず、1998年（平成10年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	47	
	社会学科	76	
	史学科	76	
	文学科	131	
	計	330	
経済学部	経済学科	460	200
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	90	
	比較文化学科		
	昼間主コース	80	
	夜間主コース	(80)	
	計	170	
		(80)	
法学部	法学科	370	200
経営学部	経営学科	420	
現代中国学部	現代中国学科	180	
合計		1,930	400
		(80)	

(注) () 内は、夜間主コースで外数。

附 則（連絡教授会構成員の増員に伴う改正）

この学則は、1998年（平成10年）7月1日から施行する。

附 則（文学部日本・中国文学科及び欧米文学科の設置、文学部、経済学部1部、国際コミュニケーション学部、経営学部、司書課程、学芸員及び社会教育主事課程の授業科目の変更、文学部各学科の専修を専攻に変更したこと及び学費の改定等に伴う改正）

- 1 この学則は、1999年（平成11年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表文学部の授業科目の履修及び卒業要件について、1998年（平成10年）度以前入学生は、なお従前の例による。
- 3 第1項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表経済学部1部経済学科3専門教育科目中「中国経済論」、「中国産業概論」、「中国農業論」、「中国のアジア太平洋政策」、「中国アジア経済特殊講義」及び同別表経営学部経営学科3経営学教育科目中「現代日本の企業経営」、「現代企業の経営環境」は、1996年度以降入学生から適用する。
- 4 第3条及び1998年（平成10年）4月1日施行附則第3項の規定にかかわらず、1999年（平成11年）度の入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	47	
	社会学科	76	
	史学科	76	
	日本・中国文学科	56	
	欧米文学科	75	
	計	330	
経済学部	経済学科	460	200
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	90	
	比較文化学科		
	昼間主コース	80	
	夜間主コース	(80)	
	計	170	

		(80)	
法学部	法学科	370	200
経営学部	経営学科	420	
現代中国学部	現代中国学科	180	
合計		1,930	400
		(80)	

(注) () 内は、夜間主コースで外数。

附 則（文学部学生定員の増加、期間を付した入学定員の設定、教育職員免許状の認定課程及び免許状の種類追加、専門学校からの編入学受入れ、法学部1部・2部、経営学部の授業科目及び卒業要件の変更、国際コミュニケーション学部の単位数変更、教職課程再課程認定に係わる授業科目及び修了要件の変更並びに学費の改定等に伴う改正）

- この学則は、2000年（平成12年）4月1日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表各授業科目の履修及び卒業要件、第18条第3項別表教職に関する授業科目の履修及び修了要件について、1999年（平成11年）度以前入学生は、なお従前の例による。
- 第2項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表国際コミュニケーション学部比較文化学科授業科目中「比較文化フィールド・ワーク」の単位数については、1998年度入学生から適用する。
- 第2項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表法学部1部法学科3法学教育科目中「行政法総論Ⅰ」、「行政法総論Ⅱ」、「国際取引法Ⅰ」、「国際取引法Ⅱ」及び同別表法学部2部法学科3法学教育科目中「地方自治論Ⅰ」、「地方自治論Ⅱ」並びに同別表経営学部経営学科3経営学教育科目中「品質管理論」、「経営数学入門」、「行政法総論Ⅰ」、「行政法総論Ⅱ」は1996年度以降入学生から適用する。
- 第1項の規定にかかわらず、2000年度編入学試験の志願者は前年度の出願時から適用する。
- 第3条の規定にかかわらず、2000年（平成12年）度の入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	46	
	社会学科	73	
	史学科	74	
	日本・中国文学科	55	

	欧米文学科	73	
	計	321	
経済学部	経済学科	440	200
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	90	
	比較文化学科		
	昼間主コース	80	
	夜間主コース	(80)	
	計	170	
		(80)	
法学部	法学科	354	200
経営学部	経営学科	406	
現代中国学部	現代中国学科	180	
合計		1,871	400
		(80)	

(注) () 内は、夜間主コースで外数。

附 則 (文部大臣が文部科学大臣に変更されたこと、文学部の入学定員増及び期間を付した入学定員の表示、休学の取扱いに関する条文の整理、経済学部1部、経済学部2部、法学部2部、経営学部及び現代中国学部授業科目の追加等に伴う改正)

- この学則は、2001年(平成13年)4月1日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第35条及び第14条第1項別表経営学部経営学科3経営学教育科目の履修は、1996年(平成8年)度入学生から適用する。
- 第1項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表経済学部1部経済学科及び経済学部2部経済学科3専門教育科目並びに法学部2部法学科3法学教育科目の履修は、2000年(平成12年)度入学生から適用する。
- 第1項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表現代中国学部現代中国学科基幹科目の履修は、1997年(平成9年)度入学生から適用する。
- 第3条の規定にかかわらず、2001年(平成13年)度から2007年(平成19年)度までの学生定員は次のとおりとする。

学部及び学科名	2001年 (平成13年)度	2002年 (平成14年)度	2003年 (平成15年)度	2004年 (平成16年)度	2005年 (平成17年)度	2006年 (平成18年)度	2007年 (平成19年)度

		入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
文学部	哲学科	45	195	43	191	40	184	37	175	29	159	29	145	29	134
	社会学科	70	315	65	304	61	289	57	273	38	241	38	214	38	191
	史学科	73	319	68	311	63	298	58	282	44	253	44	229	44	210
	日本・中国文学 科	53	170	50	226	47	217	44	206	30	183	30	163	30	146
	欧米文学科	71	228	67	304	63	292	59	278	39	246	39	218	39	194
	文学科	—	146	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	312	1, 3 73	293	1, 3 36	274	1, 2 80	255	1, 2 14	180	1, 0 82	180	969	180	875
経済 学部	1部 経済学科	420	1, 8 40	400	1, 7 80	380	1, 7 00	360	1, 6 20	300	1, 5 00	300	1, 4 00	300	1, 3 20
	2部 経済学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
国際コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 部	言語コミュニケ ーション学科	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400
	比較文化学科 昼間主コース	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380
	夜間主コース	(80	(32	(80	(32	(80	(32	(80	(32	(80	(32	(80	(32	(80	(32
	計	170	780	170	780	170	780	170	780	170	780	170	780	170	780
法 学 部	1部 法学科	338	1, 4 92	322	1, 4 44	306	1, 3 80	290	1, 3 16	170	1, 1 48	170	996	170	860
	2部 法学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
経営学部	経営学科	392	1, 6 98	378	1, 6 56	364	1, 6 00	350	1, 5 44	260	1, 4 12	260	1, 2 94	260	1, 1 90
現代中国 学部	現代中国学科	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770

合計	1部	1,812(80)	7,953(320)	1,743(80)	7,766(320)	1,674(80)	7,510(320)	1,605(80)	7,244(320)	1,260(80)	6,692(320)	1,260(80)	6,209(320)	1,260(80)	5,795(320)
	2部	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600

(注)

- 1 収容定員には編入学定員を含む。
- 2 () は、夜間主コースで外数。

附 則 (外国人留学生別科の設置、文学部の入学定員増、各学部授業科目及び卒業要件の変更、教育職員免許状の認定課程及び免許状の種類追加、学芸員及び社会教育主事に関する専門教育科目の追加、文学部社会学科調査実習費の廃止並びに現代中国学部実習費納入時期の変更等に伴う改正)

- 1 この学則は、2002年(平成14年)4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、2002年(平成14年)度から2007年(平成19年)度までの学生定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名		2002年(平成14年)度		2003年(平成15年)度		2004年(平成16年)度		2005年(平成17年)度		2006年(平成18年)度		2007年(平成19年)度	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学部	哲学科	44	192	41	186	38	178	30	163	30	149	30	138
	社会学科	66	305	62	291	58	276	39	245	39	218	39	195
	史学科	72	315	67	306	62	294	48	269	48	245	48	226
	日本・中国文学科	52	228	49	221	46	212	32	191	32	171	32	154
	欧米文学科	69	306	65	296	61	284	41	254	41	226	41	202
	計	303	1,346	284	1,300	265	1,244	190	1,122	190	1,009	190	915
経済学部	1部 経済学科	400	1,780	380	1,700	360	1,620	300	1,500	300	1,400	300	1,320
	2部 経済学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
国際コミュニケーション学	言語コミュニケーション学	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400

シ ョ ン 学 科 部	比較文化学科													
	昼間主コー ス	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380	
	夜間主コー ス	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	
	計	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	
法 学 部	1部 法学科	322	1,444	306	1,380	290	1,316	170	1,148	170	996	170	860	
	2部 法学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	
経営学部	経営学科	378	1,656	364	1,600	350	1,544	260	1,412	260	1,294	260	1,190	
現代中国 学部	現代中国学科	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770	
合計	1部	1,753 (80)	7,776 (320)	1,684 (80)	7,530 (320)	1,615 (80)	7,274 (320)	1,270 (80)	6,732 (320)	1,270 (80)	6,249 (320)	1,270 (80)	5,835 (320)	
	2部	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	

(注) 収容定員には編入学定員を含む。

3 第1項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表各学部授業科目の履修及び卒業要件について、2001年（平成13年）度以前入学生は、なお従前の例による。

4 第1項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科及び比較文化学科基本教育科目の資格課程履修科目の履修は、2000年（平成12年）度入学生から適用する。

附 則（副学長の配置に関する字句整理及び学監職の廃止、文学部の入学定員増、各学部の編入学定員の減少、編入学資格の変更、除籍の事由の追加、法学部1部、経営学部及び現代中国学部の授業科目の追加、学芸員に関する専門教育科目の追加並びに法学部1部の教育充実費の改定に伴う改正）

- この学則は、2003年（平成15年）4月1日から施行する。
- 第3条の規定にかかわらず、2003年（平成15年）度から2007年（平成19年）度までの学生定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名		2003年（平成15年）度		2004年（平成16年）度		2005年（平成17年）度		2006年（平成18年）度		2007年（平成19年）度	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
		文学部	哲学科	42	185	39	176	31	162	31	149
	社会学科	63	287	59	268	40	238	40	212	40	189
	史学科	71	305	66	292	52	271	52	251	52	232
	日本・中国文学科	51	222	48	214	34	195	34	177	34	160
	欧米文学科	67	294	63	280	43	252	43	226	43	202
	計	294	1,293	275	1,230	200	1,118	200	1,015	200	921
経済学部	1部 経済学科	380	1,682	360	1,584	300	1,464	300	1,364	300	1,284
	2部 経済学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学	90	388	90	376	90	376	90	376	90	376
	比較文化学科										
	昼間主コース	80	365	80	350	80	350	80	350	80	350
	夜間主コース	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)
	計	170 (80)	753 (320)	170 (80)	726 (320)	170 (80)	726 (320)	170 (80)	726 (320)	170 (80)	726 (320)
法学部	1部 法学科	306	1,362	290	1,280	170	1,112	170	960	170	824
	2部 法学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
経営学部	経営学科	364	1,582	350	1,508	260	1,376	260	1,258	260	1,154
現代中国学部	現代中国学科	180	755	180	740	180	730	180	730	180	730
合計	1部	1,694	7,427	1,625	7,068	1,280	6,526	1,280	6,053	1,280	5,639

	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)
2部	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600

(注) 収容定員には編入学定員を含む。

- 3 第1項の規定にかかわらず、法学部1部、経営学部及び現代中国学部の追加科目の履修は2002年（平成14年）度入学生から、学芸員に関する授業科目の履修は2003年（平成15年）度入学生から適用する。

附 則（経済学部2部経済学科、法学部2部法学科及び国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースの学生募集停止、経済学部1部、法学部1部及び国際コミュニケーション学部比較文化学科昼間主コースの名称変更、文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部及び経営学部の収容定員の変更、専門職大学院の設置、休業日と規定する日に授業又は試験を実施すること、文学部外国人留学生の卒業要件の一部変更、国際コミュニケーション学部の授業科目名称、単位数及び配当セメスターの一部変更、法学部社会人入試入学者の卒業要件の規定並びに教職に関する科目を一部削除することに伴う改正）

- 1 この学則は、2004年（平成16年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、経済学部2部経済学科、法学部2部法学科及び国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースは、2003年（平成15年）度以前の入学生が在学しなくなるまでの間、なお存続するものとする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、2003年（平成15年）度以前に入学した経済学部2部経済学科、法学部2部法学科及び国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースの学生の授業科目の履修及び卒業要件は、なお従前の例による。
- 4 第1項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表文学部外国人留学生の卒業要件、国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科の授業科目名称、単位数及び配当セメスター、第18条第3項別表教職に関する科目の授業科目の履修について、2003年（平成15年）度以前の入学生は、なお従前の例による。

附 則（文学部哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科及び欧米文学科の学生募集停止、人文社会学科の設置、経営学部会計ファイナンス学科の設置、管理運営の見直し、経営学部経営学科の授業科目及び卒業要件の変更、経営学部において進級制度を実施すること、経済学部経済学科授業科目区分のコース別卒業必要単位数の変更及び授業科目の新設、国際コミュニケーション学部授業科目の新設、授業科目名称の変更、国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科ドイツ語専攻の廃止、経営学部会計ファイナンス学科設置による法学部法学科及び現代中国学部現代中国学科の授業科目区分の変更並びに文学部人文社会学科心理学専攻の調査

実習費の納入額を定めることに伴う改正)

- 1 この学則は、2005年（平成17年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2004年（平成16年）度以前入学生は、なお従前の例による。

附 則（学校教育法施行規則の一部改正及び高等学校卒業程度認定試験規則の施行に伴う改正)

この学則は、2005年（平成17年）12月1日から施行する。

附 則（外国人留学生別科の廃止、履修届に関する条文の文言整理、各学部授業科目の新設及び名称変更、国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科の英語以外の専攻言語の廃止、学部学科長職の設置に伴う改正)

- 1 この学則は、2006年（平成18年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2005年（平成17年）度以前入学生は、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、「中国現地研究調査」及び「現地研究調査基礎」の授業科目の名称変更については、2004、2005年度入学生にも適用する。

附 則（学校教育法の一部改正、文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部及び現代中国学部の収容定員の変更、編入学資格に関する条文の追加、各学部授業科目、単位数及び卒業要件の変更並びに文学部人文社会学科社会学専攻及び行動社会学専攻の調査実習費の徴収方法の変更に伴う改正)

- 1 この学則は、2007年（平成19年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2006年（平成18年）度以前入学生はなお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、第14条第1項別表文学部人文社会学科2専門教育科目のうち「臨床ケーススタディ（児童・少年期）」、「心理学特殊講義Ⅰ」及び「心理学特殊講義Ⅱ」の履修は、2005年（平成17年）度及び2006年（平成18年）度入学生にも適用する。また、文学部人文社会学科社会学専攻及び行動社会学専攻の調査実習費の徴収方法の変更及び現代中国学部現代中国学科2専門教育科目「日中企業研修」の履修は、2006年（平成18年）度入学生にも適用する。

附 則（学校教育法及び同施行規則の一部改正に伴う改正)

この学則は、2007年（平成19年）12月26日から施行する。

附 則（大学設置基準の一部改正に伴う改正)

この学則は、2008年（平成20年）4月1日から施行する。

附 則（入学検定料の改定に伴う改正)

この学則は、2008年（平成20年）8月26日から施行する。

附 則（文学部及び経営学部の授業科目の変更並びに教育職員の採用手続等の見直しに伴う改正)

- 1 この学則は、2009年（平成21年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2008年（平成20年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（大学評議会における審議事項の明確化に伴う改正）

この学則は、2009年（平成21年）5月30日から施行する。

附 則（国際コミュニケーション学部の授業科目及び卒業要件の変更、教育職員免許法施行規則の改正による教職課程授業科目の見直し、カリキュラム変更による教職課程授業科目の新設、法学部法学科、経営学部経営学科、現代中国学部現代中国学科の教職課程授業科目の区分変更、大学評議会にかかわる審議事項の整理、学則の変更手続の明確化並びに字句整理に伴う改正）

- 1 この学則は2010年（平成22年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2009年（平成21年）度以前入学生は、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、第14条第1項別表国際コミュニケーション学部専門教育科目のうち「海外インターンシップ」の履修は、2007年（平成19年）度、2008年（平成20年）度、2009年（平成21年）度入学生にも適用する。
- 4 第2項の規定にかかわらず、第14条第1項別表法学部法学科専門教育科目及び経営学部専門教育科目及び現代中国学部現代中国学科専門教育科目のうち「外国史」については、2006年（平成18年）度入学生から適用する。
- 5 第2項の規定にかかわらず、第18条第3項別表教職に関する科目の授業科目表のうち「小中学校連携教育論Ⅰ～Ⅳ」については、2008年（平成20年）度入学生から適用する。

附 則（地域政策学部地域政策学科の設置、経済学部経済学科及び大学全体の学生定員の変更、各学部の学費改定、各学部の授業科目及び卒業要件等の変更、文学部の進級制度の導入、教職課程、司書・司書教諭、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目等の変更、文学部の外国語（中国語）の中高免許教科、外国語（ドイツ語）の中学免許教科、外国語（フランス語）の中学免許教科の廃止、学位名称の追加（学士（心理学））並びに字句整理に伴う改正）

- 1 この学則は2011年（平成23年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2010年（平成22年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（文学部人文社会学科の学生定員の増加、メディア芸術専攻の新設及び授業科目の変更、経済学部経済学科の授業科目の変更、地域政策学部地域政策学科の授業科目の表記順序の変更、博物館法施行規則改正に伴う学芸員に関する専門教育科目及び履修要件の変更並びに字句整理に伴う改正）

(施行期日)

- 1 この学則は、2012年（平成24年）4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 前項の規定にかかわらず、2011年（平成23年）度以前入学生については、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表文学部人文社会学科2専門教育科目のうち「教育心理学」及び地域政策学部地域政策学科2専門教育科目の履修は、2011年（平成23年）度入学生より適用する。

附 則（教授会決議事項の追加に伴う改正）

この学則は、2012年（平成24年）9月27日から施行する。

附 則（国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科の学科名称及び授業科目の変更に伴う改正）

- 1 この学則は、2013年（平成25年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2012年（平成24年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（文学部人文社会学科の教育研究上の目的の改訂、及び司書に関する専門教育科目の一部削除に伴う改正）

- 1 この学則は、2013年（平成25年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2012年（平成24年）度以前入学生については、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、2012年（平成24年）度入学生については、「専門資料論」を必修科目としない。

附 則（愛知大学の理念・目的の見直しに伴う改正）

この学則は、2013年（平成25年）6月20日から施行する。

附 則（文学部人文社会学科の授業科目及び履修区分の変更に伴う改正）

- 1 この学則は、2014年（平成26年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2013年（平成25年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（現代中国学部ダブルディグリー・プログラム導入に伴う改正）

- 1 この学則は、2014年（平成26年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2013年（平成25年）度以前入学生については、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、現代中国学部ダブルディグリー・プログラム参加学生の

修得単位の取扱については、2013年（平成25年）度入学生についても適用する。

附 則（学期の始期及び終期に関する規定の追加に伴う改正）

この学則は、2014年（平成26年）4月1日から施行する。

附 則（学校教育法の一部改正並びに現代中国学部の教育研究上の目的の見直し及び現地プログラムの多拠点化に伴う改正）

この学則は、2015年（平成27年）4月1日から施行する。

附 則（文学部人文社会学科英語圏文学専攻の現代国際英語専攻への再編統合等による授業科目及び卒業要件等の変更並びに学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更に伴う改正）

- 1 この学則は、2015年（平成27年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2014年（平成26年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（文学部人文社会学科社会学コース現代社会学専攻及び社会学コース行動社会学専攻の再編統合等による授業科目及び卒業要件等の変更、国際コミュニケーション学部英語学科のコース制導入及び授業科目の変更、地域政策学部地域政策学科の授業科目の表記順序及び授業科目の変更、文学部の外国語（ドイツ語）及び外国語（フランス語）の高校免許教科の廃止並びに学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更に伴う改正）

- 1 この学則は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2015年（平成27年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（協定留学生の授業科目の明確化に伴う改正）

- 1 この学則は、2017年（平成29年）4月1日から施行する。

附 則（国際コミュニケーション学部比較文化学科の学科名称の変更、国際コミュニケーション学部の授業科目及び卒業要件等の変更に伴う改正）

（施行期日）

- 1 この学則は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 前項の規定にかかわらず、2014年（平成26年）度以前入学生については、なお従前の例による。
- 3 第1項の規定にかかわらず、2015年（平成27年）度から2017年（平成29年）度入学生については、第14条第1項別表及び第24条別表に関する限り、なお従前の例による。この場合、当該別表における学科名を比較文化学科から国際教養学科に読み替える。

- 4 第1項の規定にかかわらず、国際コミュニケーション学部比較文化学科は、2018年（平成30年）3月31日の時点で当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続する。

附 則（文学部心理学科の設置、文学部心理学科の授業科目及び卒業要件の新設、公認心理師法施行に伴う文学部心理学科の授業科目及び卒業要件の変更、文学部人文社会学科、経済学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部の授業科目並びに卒業要件等の変更、経営学部経営学科及び会計ファイナンス学科の教育研究上の目的の見直し、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更、教職に関する科目の新規開設及び削除に伴う改正）

- 1 この学則は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2017年（平成29年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（学長補佐制度の新設に伴う改正）

この学則は、2018年（平成30年）9月27日から施行する。

附 則（休学期間中に外国の大学において修得した単位の取扱いを規定することに伴う改正）

この学則は、2018年（平成30年）11月1日から施行する。

附 則（教育職員免許法及び同施行規則の改正並びに教職課程再課程認定に係わる授業科目の見直し、文学部人文社会学科の授業科目の変更に伴う改正）

- 1 この学則は、2019年（平成31年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2018年（平成30年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（附属機関の明確化に伴う改正）

この学則は、2019年（平成31年）4月1日から施行する。

附 則（社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令の施行に伴う改正）

- 1 この学則は、2020年（令和2年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2018年（平成30年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（文学部歴史地理学科及び文学部日本語日本文学科の設置、文学部歴史地理学科及び文学部日本語日本文学科の授業科目及び卒業要件の新設、文学部人文社会学科及び文学部心理学科の授業科目及び卒業要件の変更並びに文学部進級要件の変更に伴う改正）

- 1 この学則は、2021年（令和3年）4月1日から施行する。

- 2 前項の規定にかかわらず、2020年（令和2年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（法学部の卒業要件の変更に伴う改正）

- 1 この学則は、2021年（令和3年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2020年（令和2年）度以前入学生については、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、この学則の変更による改正後の第14条第1項別表に定める司法コース、行政コース及び企業コースの卒業要件については、2018年（平成30年）度入学生から適用する。

附 則（休業日の追加（土曜日）に伴う改正）

この学則は、2021年（令和3年）4月1日から施行する。

附 則（スポーツ支援センターの設置に伴う改正）

この学則は、2021年（令和3年）9月1日から施行する。

附 則（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部の授業科目の新設、文学部人文社会学科及び文学部心理学部の授業科目の変更、地域政策学部地域政策学科授業科目及び履修要件の変更、教科及び教職に関する科目の追加に伴う改正）

- 1 この学則は、2022年（令和4年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2021年（令和3年）度以前入学生については、なお従前の例による。
- 3 第2項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第1項別表 文学部 2 専門教育科目のうち(1)人文社会学科の履修については、2021年（令和3年）度入学生より適用する。

附 則（二重学籍の禁止に関する条項とその例外規定の追加に伴う改正）

この学則は、2022年（令和4年）4月1日から施行する。

附 則（多様なメディアの使用を含む授業の方法の明確化に伴う改正）

- 1 この学則は、2022年（令和4年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、令和2年3月24日付け文部科学省通知（元文科高第1259号）が適用される期間において、第14条の2第2項の授業の方法により修得した単位は、第25条第2項に規定する卒業の要件として修得すべき単位数に含まないこととする。

附 則（エクステンションセンターの廃止に伴う改正）

この学則は、2023年（令和5年）7月1日から施行する。

附 則（入学資格を有しない者の明確化に伴う改正）

この学則は、2023年（令和5年）8月1日から施行する。

附 則（ささしま地域連携研究センターの設置に伴う改正）

この学則は、2024年（令和6年）4月1日から施行する。

附 則（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部の授業科目及び卒業要件等の変更、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更、2年次編入学制度の廃止に伴う改正）

- 1 この学則は、2025年（令和7年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部の授業科目及び卒業要件等の変更、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更については、2024年（令和6年）度以前入学生は、なお従前の例による。

附 則（ガバナンス体制の見直しに伴う改正）

この学則は、2025年（令和7年）4月1日から施行する。

附 則（主要授業科目の見直しに伴う改正）

この学則は、2025年（令和7年）7月1日から施行する。

附 則（愛知大学国際中国学研究センターの組織変更、社会教育主事課程の廃止に伴う改正）

- 1 この学則は、2026年（令和8年）4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、社会教育主事課程の廃止については、2025年（令和7年）度以前入学生は、なお従前の例による。

第14条第1項別表 文学部

人文社会学科に履修区分として現代文化(東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術)、社会学(社会学)、欧米言語文化(現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化)の各コース(各専攻)を置く。

心理学科に履修区分として心理学専攻を置く。

歴史地理学科に履修区分として日本史学、世界史学、地理学の各専攻を置く。

日本語日本文学科に履修区分として日本語日本文学専攻を置く。

1 共通教養科目(各学科共通)

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考
外国語分野	英語	Communicative English I	1	
		Communicative English II	1	
		R e a d i n g I	1	
		T O E I C	1	
		Practical English I	1	
		Practical English II	1	
		R e a d i n g II	1	
		R e a d i n g III	1	
		Current English I	2	
		Current English II	2	
		Communication Skills I	2	
		Communication Skills II	2	
		Communication Skills III	2	
		Communication Skills IV	2	
中国語		入 門 中 国 語 I	1	
		入 門 中 国 語 II	1	
		基 礎 中 国 語 I	1	
		基 礎 中 国 語 II	1	
		応 用 中 国 語 I	1	
		応 用 中 国 語 II	1	
		総 合 中 国 語 I	1	
		総 合 中 国 語 II	1	
		中国語会話(初級) I	1	
		中国語会話(初級) II	1	
		中国語会話(中級) I	1	
		中国語会話(中級) II	1	
		コミュニケーション中国語 I A	2	
		コミュニケーション中国語 I B	2	
	コミュニケーション中国語 II A	2		
	コミュニケーション中国語 II B	2		

フランス語	入門	フランス語	I	1		
	入門	フランス語	II	1		
	基礎	フランス語	I	1		
	基礎	フランス語	II	1		
	応用	フランス語	I	1		
	応用	フランス語	II	1		
	総合	フランス語	I	1		
	総合	フランス語	II	1		
		フランス語会話(初級)	I	1		
		フランス語会話(初級)	II	1		
		フランス語会話(中級)	I	1		
		フランス語会話(中級)	II	1		
		コミュニケーションフランス語	IA	2		
		コミュニケーションフランス語	IB	2		
		コミュニケーションフランス語	IIA	2		
	コミュニケーションフランス語	IIB	2			
外国語分野	ドイツ語	入門	ドイツ語	I	1	
		入門	ドイツ語	II	1	
		基礎	ドイツ語	I	1	
		基礎	ドイツ語	II	1	
		応用	ドイツ語	I	1	
		応用	ドイツ語	II	1	
		総合	ドイツ語	I	1	
		総合	ドイツ語	II	1	
			ドイツ語会話(初級)	I	1	
			ドイツ語会話(初級)	II	1	
ロシア語	入門	ロシア語	I	1		
	入門	ロシア語	II	1		
	基礎	ロシア語	I	1		
	基礎	ロシア語	II	1		
	応用	ロシア語	I	1		
	応用	ロシア語	II	1		
	総合	ロシア語	I	1		

		総合ロシア語Ⅱ	1		
韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1			
	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1			
	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1			
	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1			
	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	1			
	応用韓国・朝鮮語Ⅱ	1			
	総合韓国・朝鮮語Ⅰ	1			
	総合韓国・朝鮮語Ⅱ	1			
ポルトガル語	入門ポルトガル語Ⅰ	1			
	入門ポルトガル語Ⅱ	1			
	基礎ポルトガル語Ⅰ	1			
	基礎ポルトガル語Ⅱ	1			
日本語	日本語・表現Ⅰ	1	外国人留学生履修科目		
	日本語・表現Ⅱ	1			
	日本語・論文技術(基礎)Ⅰ	1			
	日本語・論文技術(基礎)Ⅱ	1			
	日本語・総合Ⅰ	1			
	日本語・総合Ⅱ	1			
	日本語・論文技術(応用)Ⅰ	1			
	日本語・論文技術(応用)Ⅱ	1			
	アカデミック日本語Ⅰ	2			
	アカデミック日本語Ⅱ	2			
	ビジネス日本語Ⅰ	2			
	ビジネス日本語Ⅱ	2			
	日本事情Ⅰ	2			
	日本事情Ⅱ	2			
外国語分野	外国理解	世界の言語Ⅰ	2		
		世界の言語Ⅱ	2		
		ラテン語Ⅰ	2		
		ラテン語Ⅱ	2		
		ギリシヤ語Ⅰ	2		
		ギリシヤ語Ⅱ	2		

	海外セミナー I	2	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
	海外セミナー II	2	
	海外セミナー III	2	
	海外セミナー IV	2	
	外国理解 I	2	留学学修成果認定科目
	外国理解 II	2	
	外国理解 III	2	
	外国理解 IV	2	
数理・情報分野	データサイエンス入門	2	
	教養数学	2	
	数理学入門	2	
	数理学基礎	2	
	確率論入門	2	
	確率論基礎	2	
	統計学入門	2	
	統計学基礎	2	
	情報倫理	2	
	情報デザイン	2	
	社会データ分析入門	2	
	プログラミング	2	
	情報の科学	2	
	情報と社会	2	
情報リテラシー・入門	1		
情報リテラシー・応用	1		
自然分野	物質の科学	2	
	地球の科学	2	
	宇宙の科学	2	
	生命の科学	2	
	環境の科学	2	
	科学と社会	2	
	自然環境と地理	2	
	行動生態学	2	
健康科学	2		

	ス ポ ー ツ 工 学	2		
	ト レ ー ニ ン グ 科 学	2		
社会分野	歴 史 学	2		
	考 古 学	2		
	地 理 学	2		
	社 会 学	2		
	政 治 学	2		
	経 済 学	2		
	法 学	2		
	経 営 学	2		
	憲 法 学	2		
	レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2		
ジ ェ ン ダ ー 論	2			
人文分野	哲 学	2		
	理 学	2		
	宗 教 学	2		
	心 理 学	2		
	文 化 人 類 学	2		
	現 代 の 思 想	2		
	民 俗 学	2		
	ス ポ ー ツ 文 化 論	2		
	文 学	2		
	日 本 語 学	2		
	古 典 の 世 界	2		
	言 語 と 文 化	2		
	芸 術 論	2		
	総合	総 合 科 目	2	
総 合 演 習 I		2		
総 合 演 習 II		2		
総 合 演 習 III		2		
総 合 演 習 IV		2		
キ ャ リ ア デ ザ イン 基 礎		2		
キ ャ リ ア デ ザ イン 応 用		2		

	自治体首長講義	2		
	キャリアデザイン特殊講義	2		
	日本理解 I	2		
	日本理解 II	2		
	日本発信基礎	2		
	日本発信応用	2		
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2		
	スポーツ実技 I	1		
	スポーツ実技 II	1		
	スポーツ実技 III	1		
	スポーツ実技 IV	1		

2 専門教育科目

(1) 人文社会学科

全専攻共通

	授業科目	単位数	主要授業科目	備考
学部 共通 科目	文学部総合研究	2	○	
	卒業論文	8	○	
	入門講義（現代文化）	2		
	入門講義（社会学）	2		
	入門講義（心理学）	2		
	入門講義（歴史・地理学）	2		
	入門講義（日本語日本文学）	2		
	入門講義（欧米言語文化）	2		
	入門演習（東アジア文化）	2		
	入門演習（哲学）	2		
	入門演習（図書館情報学）	2		
	入門演習（メディア芸術）	2		
	入門演習（社会学）	2		
	入門演習（心理学）	2		
	入門演習（日本史学）	2		
	入門演習（世界史学）	2		
	入門演習（地理学）	2		
	入門演習（日本語日本文学）	2		
入門演習（欧米言語文化）	2			

A 現代文化コース 東アジア文化専攻 哲学専攻 図書館情報学専攻 メディア芸術専攻

	授業科目	単位数	主要授業科目	備考
基幹 科目	人文社会学科基礎演習	2	○	
	現代文化基礎論	2	○	
	表現実習	2	○	
	東アジア文化総論	2	○	
	東アジア文化各論	2	○	
	西洋近代哲学史	2	○	
	西洋現代哲学史	2	○	
	図書館情報学概論Ⅰ	2	○	
	図書館情報学概論Ⅱ	2	○	

		メ	デ	イ	ア	芸	術	概	論	I	2	○		
		メ	デ	イ	ア	芸	術	概	論	II	2	○		
		現		代		文		化		論	2			
演習科目		現	代	文	化	演	習			I	2	○		
		現	代	文	化	演	習			II	2	○		
		現	代	文	化	演	習			III	2	○		
		現	代	文	化	演	習			IV	2	○		
		東	ア	ジ	ア	文	化	基	礎	演	習	I	2	○
		東	ア	ジ	ア	文	化	基	礎	演	習	II	2	○
	哲	学				基	礎			演	習	2	○	
展開科目	専攻必修 東アジア文化	東	ア	ジ	ア	文	化	講	読	I	2	○		
		東	ア	ジ	ア	文	化	講	読	II	2	○		
		東	ア	ジ	ア	文	化	講	読	III	2	○		
		東	ア	ジ	ア	文	化	講	読	IV	2	○		
哲学専攻必修		ド	イ	ツ	哲	学	講	読		A	2	○		
		フ	ラ	ン	ス	哲	学	講	読	A	2	○		
		ギ	リ	シ	ア	哲	学	講	読	A	2	○		
		ド	イ	ツ	哲	学	講	読		B	2	○		
		フ	ラ	ン	ス	哲	学	講	読	B	2	○		
		ギ	リ	シ	ア	哲	学	講	読	B	2	○		
		ド	イ	ツ	哲	学	講	読		C	2	○		
		フ	ラ	ン	ス	哲	学	講	読	C	2	○		
		ギ	リ	シ	ア	哲	学	講	読	C	2	○		
		ド	イ	ツ	哲	学	講	読		D	2	○		
		フ	ラ	ン	ス	哲	学	講	読	D	2	○		
		ギ	リ	シ	ア	哲	学	講	読	D	2	○		
		哲	学				概	説		I	2	○		
		哲	学				概	説		II	2	○		
図書館情報学専攻必修		図	書	館	情	報	サ	ー	ビ	ス	A	2	○	
		図	書	館	情	報	サ	ー	ビ	ス	B	2	○	
		調	査		検	索				実	習	2	○	
		図	書	館	情	報	資	源		論		2	○	
		図	書	館	情	報	学	講	読	I	2	○		
		図	書	館	情	報	学	講	読	II	2	○		
		情	報				処	理		A	2	○		
		情	報				処	理		B	2	○		

	専 門 情 報 A	2	○	
	専 門 情 報 B	2	○	
	専 門 情 報 C	2	○	
メディア芸術専攻必修	メディア芸術基礎研究法	2	○	
	メディア芸術批評実習Ⅰ	2	○	
	メディア芸術基礎実習Ⅰ	2	○	
	マルチメディア制作実習Ⅰ	2	○	
	情報デザイン論実習Ⅰ	2	○	
	メディア芸術批評実習Ⅱ	2	○	
	メディア芸術基礎実習Ⅱ	2	○	
	マルチメディア制作実習Ⅱ	2	○	
関連科目	中国思想Ⅰ	2		
	中国思想Ⅱ	2		
	日本思想Ⅰ	2		
	日本思想Ⅱ	2		
	インド思想Ⅰ	2		
	インド思想Ⅱ	2		
	中国文学Ⅰ	2		
	中国文学Ⅱ	2		
	文化交 流 史Ⅰ	2		
	文化交 流 史Ⅱ	2		
	漢 文 学Ⅰ	2		
	漢 文 学Ⅱ	2		
	書 画 論Ⅰ	2		
	書 画 論Ⅱ	2		
	書 道Ⅰ	2		
	書 道Ⅱ	2		
	倫 理 学 概 論	2		
	応 用 倫 理 学 概 論	2		
	哲 学 特 殊 講 義 A	2		
	哲 学 特 殊 講 義 B	2		
宗 教 学 概 論	2			
宗 教 学 思 想 史	2			
情 報 政 策	2			
メ デ ィ ア	2			

	情報組織化 A	2		
	情報組織化 B	2		
	知識組織法 A	2		
	知識組織法 B	2		
	専門コミュニケーション	2		
	知的財産権	2		
	アーツマネジメント基礎論	2		
	メディア芸術特殊実習	2		
	芸術文化論	2		
	メディア芸術特殊講義	2		
	芸術史	2		
	演劇論	2		
	映画論	2		
	美学概論 I	2		
	美学概論 II	2		
	現代文化特殊研究 I	2		
	現代文化特殊研究 II	2		
	児童サービス論	2		
	文化情報・メディア論	2		
	生涯学習概論 I	2		
	生涯学習概論 II	2		
	教育方法論	2		
	社会科・地歴科教育法	2		
	社会科・公民科教育法	2		
	社会科教育法	2		
他学部科目	G I S 概論	2		
	まちづくりとデータ分析	2		
	地域資源論	2		
	英米の地域と文化	2		
	多文化共生論	2		
	都市の見方・考え方	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
教職課程科目	日本史	2		※
	外国史	2		※
	地理学通論	1		※
	地誌学	1		※

	政治学概論	2		※
	法学概論	2		※
科目 学校司書	学校図書館のための学校教育概論	2		※
	学校図書館サービス	2		※
	学校図書館概論	2		※
	学校図書館指導論	2		※
	学校図書館読書論	2		※

B 社会学コース 社会学専攻

	授業科目	単位数	主要授業科目	備考
基幹科目	人文社会学科基礎演習	2	○	
	社会学概論	2	○	
	社会調査入門	2	○	
	社会調査法Ⅰ	2	○	
	社会調査法Ⅱ	2	○	
	社会調査実習	4	○	
	社会学フィールド実習	4	○	
	質的調査法	2		
	社会調査法Ⅲ	2		
	地域社会学	2		
	福祉社会学	2		
	ジェンダー・セクシュアリティ論	2		
	家族社会学	2		
	労働社会学	2		
	都市社会学論	2		
	精神分析学	2		
	コミュニケーション論	2		
	共生社会学論	2		
社会階層論	2			
演習科目	社会学演習Ⅰ	2	○	
	社会学演習Ⅱ	2	○	
	社会学演習Ⅲ	2	○	
	社会学演習Ⅳ	2	○	
展開科目	教育社会学	2		
	カルチュラル・スタディーズ(文化研究)	2		
	環境社会学	2		

	社会学	2		
	政治社会学	2		
	市民参加論	2		
	社会人類学	2		
	メディア社会論	2		
	ライフコースの社会学	2		
	国際社会学	2		
	社会問題論	2		
	現代社会学	2		
関連科目	生涯学習概論 I	2		
	社会教育経営論 I	2		
	生涯学習支援論 I	2		
	日本民俗学	2		
	応用倫理学概論	2		
	教育方法論	2		
	社会科・地歴科教育法	2		
	社会科・公民科教育法	2		
他学部科目	GIS概論	2		
	まちづくりとデータ分析	2		
	地域資源論	2		
	英米の地域と文化	2		
	多文化共生論	2		
	都市の見方・考え方	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
教職課程科目	日本史	2		※
	外国史	2		※
	地理学通論	1		※
	地誌学	1		※
	政治学概論	2		※
	法学概論	2		※

C 欧米言語文化コース 現代国際英語専攻 ドイツ語圏文化専攻 フランス語圏文化専攻

授業科目		単位数	主要授業科目	備考
基幹科	人文社会科学基礎演習	2	○	
	欧米言語文化概論 I	2	○	

目	欧米言語文化概論Ⅱ	2	○		
演習科目	欧米言語文化演習Ⅰ	2	○		
	欧米言語文化演習Ⅱ	2	○		
	欧米言語文化演習Ⅲ	2	○		
	欧米言語文化演習Ⅳ	2	○		
展開科目	現代国際英語専攻	Essential Grammar	2	○	
		Basic Composition	2	○	
		Academic WritingⅠ	2	○	
		Academic WritingⅡ	2	○	
		英米文化研究Ⅰ概論	2	○	
		English Linguistics概論	2	○	
		Contemporary International English概論	2	○	
		英米文化研究Ⅰ基礎演習	2	○	
		English Communication基礎演習	2	○	
		Cont. International English基礎演習	2	○	
		Oral Strategies(英会話初級)	2	○	
	Oral Comprehension(英会話初級)	2	○		
ドイツ語圏文化専攻		ドイツ語基礎演習Ⅰ	2	○	
		ドイツ語基礎演習Ⅱ	2	○	
		ドイツ語圏文化講読Ⅰ	2	○	
		ドイツ語圏文化講読Ⅱ	2	○	
		ドイツ語圏文化講読Ⅲ	2	○	
		ドイツ語圏文化講読Ⅳ	2	○	
		ドイツ文学鑑賞Ⅰ	2	○	
		ドイツ文学鑑賞Ⅱ	2	○	
		ドイツ語圏文化概論Ⅰ	2	○	
		ドイツ語圏文化概論Ⅱ	2	○	
フランス語圏文化専攻		フランス語基礎演習A	2	○	
		フランス語基礎演習B	2	○	
		フランス語基礎演習C	2	○	
		フランス語基礎演習D	2	○	
		フランス語圏文化講読Ⅰ	2	○	
		フランス語圏文化講読Ⅱ	2	○	
		フランス語圏文学史Ⅰ	2	○	
		フランス語圏文学史Ⅱ	2	○	
		フランス語学概論Ⅰ	2	○	

	フランス語学概論Ⅱ	2	○	
関連科目	Current Issues I (英会話中級)	2		
	Current Issues II (英会話中級)	2		
	Current Issues III (英会話上級)	2		
	Current Issues IV (英会話上級)	2		
	英米文化研究Ⅱ概論	2		
	英米文化研究Ⅱ基礎演習	2		
	Preparation for TOEIC・TOEFL	2		
	Listening Strategies	2		
	New Media English	2		
	Second Language Acquisition Theories	2		
	ヨーロッパ文明史Ⅰ	2		
	ヨーロッパ文明史Ⅱ	2		
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2		
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2		
	ドイツ事情	2		
	フランス事情	2		
	フランス文化論	2		
	北米・中米フランス語圏の文化	2		
	アフリカフランス語圏の文化	2		
	エクリチュールⅠ	2		
	エクリチュールⅡ	2		
	芸術史	2		
	フランス哲学講読A	2		
	フランス哲学講読B	2		
	フランス哲学講読C	2		
	フランス哲学講読D	2		
	英米事情	2		
	教育方法論	2		
	英語科教育法	2		
英語科指導法Ⅰ	2			
英語科指導法Ⅱ	2			
他学部科目	GIS概論	2		
	まちづくりとデータ分析	2		
	地域資源論	2		
	英米の地域と文化	2		

	多文化共生論	2		
	都市の見方・考え方	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
科目 教職課程	日本史	2		※
	外国史	2		※
	地理学通論	1		※
	地理誌学	1		※
	政治学概論	2		※
	法学概論	2		※

卒業要件

- 1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
 - (1)外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2ヵ国語14単位
 - (2)数理・情報分野2単位、自然、社会、人文分野各4単位計14単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
 - (3)スポーツ・健康分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次に定めるところにより合計62単位以上を修得しなければならない。

(1)東アジア文化専攻

- イ 学部共通科目 14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義及び入門演習各2単位を含む)
 - ロ 基幹科目 14単位以上
 - ハ 演習科目 12単位
 - ニ 展開科目 8単位
 - ホ 関連科目 6単位以上
 - へ 学部共通科目
基幹科目
演習科目
展開科目
関連科目
人文社会学科
他コース科目
他学科科目
- } の中から8単位以上

(2)哲学専攻

- イ 学部共通科目 14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義及び入門演習各2単位を含む)
- ロ 基幹科目 14単位以上
- ハ 演習科目 10単位

ニ	展開科目	12単位
ホ	関連科目	6単位以上
へ	学部共通科目	} の中から 6 単位以上
	基幹科目	
	演習科目	
	展開科目	
	関連科目	
	人文社会学科 他コース科目	
	他学科科目	

(3) 図書館情報学専攻

イ	学部共通科目	14単位以上(文学部総合研究 2 単位、卒業論文 8 単位、入門講義及び入門演習各 2 単位を含む)
ロ	基幹科目	14単位以上
ハ	演習科目	8 単位
ニ	展開科目	16単位
ホ	関連科目	6 単位以上
へ	学部共通科目	} の中から 4 単位以上
	基幹科目	
	演習科目	
	展開科目	
	関連科目	
	人文社会学科 他コース科目	
	他学科科目	

(4) メディア芸術専攻

イ	学部共通科目	14単位以上(文学部総合研究 2 単位、卒業論文 8 単位、入門講義及び入門演習各 2 単位を含む)
ロ	基幹科目	14単位以上
ハ	演習科目	8 単位
ニ	展開科目	14単位
ホ	関連科目	6 単位以上
へ	学部共通科目	} の中から 6 単位以上
	基幹科目	
	演習科目	
	展開科目	
	関連科目	
	人文社会学科 他コース科目	
	他学科科目	

(5) 社会学専攻

イ	学部共通科目	14単位以上(文学部総合研究 2 単位、卒業論文 8 単位、入門講義及び入門演習各 2 単位を含む)
ロ	基幹科目	26単位以上
ハ	演習科目	8 単位
ニ	展開科目	6 単位
ホ	学部共通科目	} の中から 8 単位以上
	基幹科目	
	展開科目	
	関連科目	
	人文社会学科 他コース科目	
	他学科科目	

(6) 現代国際英語専攻

イ	学部共通科目	14単位以上(文学部総合研究 2 単位、卒業論文 8 単位、入門講義及び入門演習各 2 単位を含む)
ロ	基幹科目	4 単位
ハ	演習科目	8 単位
ニ	展開科目	24単位
ホ	関連科目	6 単位以上
へ	学部共通科目	} の中から 6 単位以上
	基幹科目	
	展開科目	
	関連科目	
	人文社会学科 他コース科目	
	他学科科目	

(7) ドイツ語圏文化専攻

イ	学部共通科目	14単位以上(文学部総合研究 2 単位、卒業論文 8 単位、入門講義及び入門演習各 2 単位を含む)
ロ	基幹科目	4 単位
ハ	演習科目	8 単位
ニ	展開科目	20単位
ホ	関連科目	6 単位以上
へ	学部共通科目	} の中から 10 単位以上
	基幹科目	
	展開科目	
	関連科目	
	人文社会学科 他コース科目	
	他学科科目	

(8) フランス語圏文化専攻

イ	学部共通科目	14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義及び入門演習各2単位を含む)
ロ	基幹科目	4単位
ハ	演習科目	8単位
ニ	展開科目	20単位
ホ	関連科目	10単位以上
ヘ	学部共通科目	} の中から6単位以上
	基幹科目	
	展開科目	
	関連科目	
	人文社会学科 他コース科目	
	他学科科目	

- 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。
- その他授業科目の履修については、別に定める。
- 教職課程あるいは学校司書科目として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含めない。

備考

- 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

(2) 心理学科

授業科目		単位数	主要授業科目	備考
学部共通科目	文学部総合研究	2	○	
	卒業論文	8	○	
	入門講義(現代文化)	2		
	入門講義(社会学)	2		
	入門講義(心理学)	2	○	
	入門講義(歴史・地理学)	2		
	入門講義(日本語日本文学)	2		
	入門講義(欧米言語文化)	2		
	入門演習(東アジア文化)	2		
	入門演習(哲学)	2		
	入門演習(図書館情報学)	2		
	入門演習(メディア芸術)	2		
	入門演習(社会学)	2		
	入門演習(心理学)	2	○	
	入門演習(日本史学)	2		
	入門演習(世界史学)	2		
	入門演習(地理学)	2		
	入門演習(日本語日本文学)	2		
入門演習(欧米言語文化)	2			
基幹科目	心理学概論	2	○	
	心理学実験Ⅰ	2	○	
	心理学実験Ⅱ	2	○	
	心理的アセスメント	2	○	
	心理学統計法	2	○	
	心理学研究法	2	○	
	知覚・認知心理学	2		
	学習・言語心理学	2		
	比較心理学	2		
	臨床心理学概論	2		
	社会・集団・家族心理学	2		
	発達心理学	2		
健康・医療心理学	2			
演習科目	心理演習Ⅰ	2	○	
	心理演習Ⅱ	2	○	
	心理演習Ⅲ	2	○	
	心理演習Ⅳ	2	○	

展開科目	人体の構造と機能及び疾病	2		
	知的情報処理論	2		
	教育・学校心理学	2		
	産業・組織心理学	2		
	認知科学	2		
	障害者・障害児心理学	2		
	応用行動分析	2		
	感情・人格心理学	2		
	神経・生理心理学	2		
	心理学的支援法	2		
	福祉心理学	2		
	司法・犯罪心理学	2		
	精神疾患とその治療	2		
	組織行動マネジメント	2		
公認心理師の職責	2			
関係行政論	2			
心理実習	2			
他学部科目	G I S 概論	2		
	まちづくりとデータ分析	2		
	地域資源論	2		
	英米の地域と文化	2		
	多文化共生論	2		
	都市の見方・考え方	2		
	異文化間コミュニケーション	2		

卒業要件

- 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
 - (1)外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2ヵ国語14単位
 - (2)数理・情報分野2単位、自然、社会、人文分野各4単位計14単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
 - (3)スポーツ・健康分野 2単位
- 専門教育科目は、次に定めるところにより合計62単位以上を修得しなければならない。

心理学専攻

- | | |
|----------|--|
| イ 学部共通科目 | 14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義(心理学)及び入門演習(心理学)各2単位を含む) |
| ロ 基幹科目 | 20単位以上 |
| ハ 演習科目 | 8単位 |
| ニ 展開科目 | 16単位以上 |

ホ 学部共通科目
基幹科目
展開科目
他学科科目

} の中から 4 単位以上

- 3 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。
- 4 その他授業科目の履修については、別に定める。

備考

- 1 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 2 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

(3) 歴史地理学科

	授業科目	単位数	主要授業科目	備考
学部共通科目	文学部総合研究	2	○	
	卒業論文	8	○	
	入門講義（現代文化）	2		
	入門講義（社会学）	2		
	入門講義（心理学）	2		
	入門講義（歴史・地理学）	2		
	入門講義（日本語日本文学）	2		
	入門講義（欧米言語文化）	2		
	入門演習（東アジア文化）	2		
	入門演習（哲学）	2		
	入門演習（図書館情報学）	2		
	入門演習（メディア芸術）	2		
	入門演習（社会学）	2		
	入門演習（心理学）	2		
	入門演習（日本史学）	2		
	入門演習（世界史学）	2		
	入門演習（地理学）	2		
	入門演習（日本語日本文学）	2		
入門演習（欧米言語文化）	2			
演習科目	歴史・地理学演習Ⅰ	2	○	
	歴史・地理学演習Ⅱ	2	○	
	歴史・地理学演習Ⅲ	2	○	
	歴史・地理学演習Ⅳ	2	○	
	歴史・地理学演習Ⅴ	2	○	
	歴史・地理学演習Ⅵ	2	○	
基幹科目	歴史・地理学特殊講義A	2		
	歴史・地理学特殊講義B	2		
	歴史・地理学特殊講義C	2		
	歴史・地理学特殊講義D	2		
	歴史・地理学特殊講義E	2		
	歴史・地理学特殊講義F	2		
	歴史・地理学特殊講義G	2		
	歴史・地理学特殊講義H	2		
	日本史学講読A	2	○	
	日本史学講読B	2	○	
	日本史学講読C	2	○	
	世界史学講読I	2	○	

	世界史学講読Ⅱ	2	○	
	世界史学講読Ⅲ	2	○	
	世界史学講読Ⅳ	2	○	
	地理学講読	2	○	
	地理学フィールドワーク実習	2	○	
	地理学領域分析学	2	○	
	地理学図	2	○	
展開科目	歴史学総論	2		
	地理学総論	2		
	外国考古学Ⅰ	2		
	外国考古学Ⅱ	2		
	歴史地理学Ⅱ	2		
	自然地理学Ⅱ	2		
	日本史史料学Ⅱ	2		
	日本考古学Ⅰ	2		
	日本考古学Ⅱ	2		
	日本文化史Ⅰ	2		
	日本文化史Ⅱ	2		
	日本民俗学Ⅱ	2		
	ヨーロッパ文明史Ⅰ	2		
ヨーロッパ文明史Ⅱ	2			
芸	日本美術史	2		
関連科目	博物館概論	2		
	教育方法論	2		
	社会科・地歴科教育法	2		
	社会科・公民科教育法	2		
他学部科目	社会科教育法	2		
	G I S 概論	2		
	まちづくりとデータ分析	2		
	地域資源論	2		
	英米の地域と文化論	2		
	多文化共生論	2		
都市の見方・考え方	2			
異文化間コミュニケーション	2			
教職課程科目	日本史	2		※
	外国史	2		※
	地理学通論	1		※
	地理学誌学	1		※
	政治学概論	2		※
法学概論	2		※	

卒業要件

- 1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
 - (1)外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2ヵ国語14単位
 - (2)数理・情報分野2単位、自然、社会、人文分野各4単位計14単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
 - (3)スポーツ・健康分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次に定めるところにより合計62単位以上を修得しなければならない。

(1)日本史学専攻

- | | |
|---|--|
| イ 学部共通科目 | 14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義及び入門演習各2単位を含む) |
| ロ 演習科目 | 12単位 |
| ハ 基幹科目 | 14単位以上 |
| ニ 展開科目 | 8単位以上 |
| ホ 学部共通科目
基幹科目
展開科目
関連科目
他学科科目 | } の中から14単位以上 |

(2)世界史学専攻

- | | |
|---|--|
| イ 学部共通科目 | 14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義及び入門演習各2単位を含む) |
| ロ 演習科目 | 12単位 |
| ハ 基幹科目 | 16単位以上 |
| ニ 展開科目 | 8単位以上 |
| ホ 学部共通科目
基幹科目
展開科目
関連科目
他学科科目 | } の中から12単位以上 |

(3)地理学専攻

- | | |
|---|--|
| イ 学部共通科目 | 14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義及び入門演習各2単位を含む) |
| ロ 演習科目 | 12単位 |
| ハ 基幹科目 | 16単位以上 |
| ニ 展開科目 | 8単位以上 |
| ホ 学部共通科目
基幹科目
展開科目
関連科目
他学科科目 | } の中から12単位以上 |

- 3 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。
- 4 その他授業科目の履修については、別に定める。
- 5 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含めない。

備考

1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

(4) 日本語日本文学科

授業科目		単位数	主要授業科目	備考
学部 共通 科目	文学部総合研究	2	○	
	卒業論文	8	○	
	入門講義（現代文化）	2		
	入門講義（社会学）	2		
	入門講義（心理学）	2		
	入門講義（歴史・地理学）	2		
	入門講義（日本語日本文学）	2		
	入門講義（欧米言語文化）	2		
	入門演習（東アジア文化）	2		
	入門演習（哲学）	2		
	入門演習（図書館情報学）	2		
	入門演習（メディア芸術）	2		
	入門演習（社会学）	2		
	入門演習（心理学）	2		
	入門演習（日本史学）	2		
	入門演習（世界史学）	2		
	入門演習（地理学）	2		
	入門演習（日本語日本文学）	2		
入門演習（欧米言語文化）	2			
演習 科目	日本語日本文学基礎演習ⅠA	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅠB	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅠC	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅠD	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅠE	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅡA	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅡB	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅡC	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅡD	2	○	
	日本語日本文学基礎演習ⅡE	2	○	
	日本語日本文学演習Ⅰ	2	○	
	日本語日本文学演習Ⅱ	2	○	
	日本語日本文学演習Ⅲ	2	○	
	日本語日本文学演習Ⅳ	2	○	

基幹科目	日本古典文学概論	2	○	
	日本近代文学概論	2	○	
	日本語学概論	2	○	
	日本語表現学概論	2	○	
展開科目	日本古典文学史	2		
	日本近代文学史	2		
	日本語史	2		
	日本古典文学講読 I	2		
	日本近代文学講読 I	2		
	日本語学講読 I	2		
	日本古典文学講読 II	2		
	日本近代文学講読 II	2		
	日本語学講読 II	2		
	日本古典文学特殊講義	2		
	日本近代文学特殊講義	2		
	日本語学特殊講義	2		
	日本語コミュニケーション特殊講義	2		
	日本語文法論	2		
関連科目	レトリック研究	2		
	古典文学資料読解	2		
	日本近代文学 I	2		
	日本近代文学 II	2		
	日本語教育研究 I	2		
	日本語教育研究 II	2		
	漢文学 I	2		
	漢文学 II	2		
	外国語としての日本語	2		
	教育方法論	2		
	国語科教育法	2		
	国語科指導法 I	2		
国語科指導法 II	2			
他学部科目	G I S 概論	2		
	まちづくりとデータ分析	2		
	地域資源論	2		
	英米の地域と文化	2		
	多文化共生論	2		

都市の見方・考え方	2		
異文化間コミュニケーション	2		

卒業要件

- 1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
 - (1)外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2ヵ国語14単位
 - (2)数理・情報分野2単位、自然、社会、人文分野各4単位計14単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
 - (3)スポーツ・健康分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次に定めるところにより合計62単位以上を修得しなければならない。

日本語日本文学専攻

イ 学部共通科目	14単位以上(文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義及び入門演習各2単位を含む)
ロ 演習科目	14単位以上
ハ 基幹科目	8単位
ニ 展開科目	18単位以上
ホ 関連科目	6単位以上
ヘ 学部共通科目 演習科目 展開科目 関連科目 他学科科目	} の中から2単位以上

- 3 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。
- 4 その他授業科目の履修については、別に定める。

備考

- 1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
 なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第1項別表 経済学部 経済学科

1 共通教養科目

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考	
外国語分野	英語	R e a d i n g I	1		
		R e a d i n g II	1		
		R e a d i n g III	1		
		R e a d i n g IV	1		
		P r a c t i c a l E n g l i s h	1		
		T O E I C I	1		
		T O E I C II	2		
		T O E I C III	2		
		C u r r e n t E n g l i s h I	2		
		C u r r e n t E n g l i s h II	2		
		W r i t i n g I	2		
		W r i t i n g II	2		
		A d v a n c e d R e a d i n g I	2		
		A d v a n c e d R e a d i n g II	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s I	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s II	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s III	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s IV	2		
		E n g l i s h S e m i n a r I	2		
		E n g l i s h S e m i n a r II	2		
E n g l i s h S e m i n a r III	2				
E n g l i s h S e m i n a r IV	2				
ドイツ語		ド イ ツ 語 入 門 I	1		
		ド イ ツ 語 入 門 II	1		
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1		
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1		
		ド イ ツ 語 応 用 I	2		
		ド イ ツ 語 応 用 II	2		
		ド イ ツ 語 演 習 I	2		
		ド イ ツ 語 演 習 II	2		
		ド イ ツ 語 演 習 III	2		

	ドイツ語演習Ⅳ	2		
フランス語	フランス語入門Ⅰ	1		
	フランス語入門Ⅱ	1		
	フランス語基礎Ⅰ	1		
	フランス語基礎Ⅱ	1		
	フランス語応用Ⅰ	2		
	フランス語応用Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅰ	2		
	フランス語演習Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅲ	2		
	フランス語演習Ⅳ	2		
中国語	中国語入門Ⅰ	1		
	中国語入門Ⅱ	1		
	中国語基礎Ⅰ	1		
	中国語基礎Ⅱ	1		
	中国語応用Ⅰ	2		
	中国語応用Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅰ	2		
	中国語演習Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅲ	2		
	中国語演習Ⅳ	2		
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2		
ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1		
	ロシア語入門Ⅱ	1		
	ロシア語基礎Ⅰ	1		
	ロシア語基礎Ⅱ	1		

	ロシア語応用	I	2			
	ロシア語応用	II	2			
	ロシア語演習	I	2			
	ロシア語演習	II	2			
	ロシア語演習	III	2			
	ロシア語演習	IV	2			
タイ語	タイ語入門	I	1			
	タイ語入門	II	1			
	タイ語基礎	I	1			
	タイ語基礎	II	1			
	タイ語応用	I	2			
	タイ語応用	II	2			
	タイ語演習	I	2			
	タイ語演習	II	2			
	タイ語演習	III	2			
	タイ語演習	IV	2			
日本語	日本語	I	1	外国人留学生履修科目		
	日本語	II	1			
	日本語	III	1			
	日本語	IV	1			
	日本語	V	1			
	日本語	VI	1			
	日本語	VII	1			
	日本語	VIII	1			
	専門日本語	I	2			
	専門日本語	II	2			
	ビジネス日本語	I	2			
	ビジネス日本語	II	2			
	日本事情	I	2			
	日本事情	II	2			
その他	世界の言語	I	2			
	世界の言語	II	2			
	世界の言語	III	2			
	世界の言語	IV	2			

	海外セミナーⅠ	2	}	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
	海外セミナーⅡ	2		
	海外セミナーⅢ	2		
	海外セミナーⅣ	2		
	外国理解Ⅰ	2	}	留学学修成果認定科目
	外国理解Ⅱ	2		
	外国理解Ⅲ	2		
	外国理解Ⅳ	2		
数理・情報分野	データサイエンス入門	2		
	情報リテラシー・入門	1		
	情報リテラシー・応用	1		
	情報倫理	2		
	情報デザイン	2		
	情報の科学	2		
	情報と社会	2		
	コンピュータ科学の基礎	2		
	社会データ分析入門	2		
	プレゼンテーション技術	2		
	プログラミング	2		
	数理科学入門	2		
	数理科学基礎	2		
	確率論入門	2		
確率論基礎	2			
自然分野	地球の科学	2		
	宇宙の科学	2		
	生命の科学	2		
	物質の科学	2		
	科学と社会	2		
	環境の科学	2		
	自然環境と地理	2		
	行動生態学	2		
	健康と栄養	2		
	健康と運動の科学	2		
	スポーツと動きの科学	2		

社会分野	憲法 政経 国際 国社 社現 社歴 経	法 治 済 関 会 社 思 史 営	学 学 学 学 学 論 学 論 史 学 学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
人文分野	哲現 言民 民宗 心異 倫文 美映 音演	代語 族族 文 理 術 画 楽 劇	の と と と と と と と と と	思 人 文 国 理 通 人 人 人 人	学 想 問 化 家 学 学 解 論 学 問 問 問 問	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
総合	総 総 総 総 キ キ 自 キ 日 日 日 日	合 合 合 合 リ リ 治 リ 本 本 本 本	合 合 合 合 ア ア 体 ア 本 本 本 本	科 演 演 演 演 デ デ 首 デ 理 理 発 発	目 習 習 習 習 ザ ザ 長 ザ 解 解 信 信	基 I II III IV イン イン 講 講 I II 基 応	礎 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		

康分 野 スポ ーツ ・ 健	スポ ーツ ・ 健 康 演 習	2		
	スポ ーツ 実 技 I	1		
	スポ ーツ 実 技 II	1		
	スポ ーツ 実 技 III	1		
	スポ ーツ 実 技 IV	1		

2 専門教育科目

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考	
専門共通科目	導入科目	マ ク ロ 経 済 学 入 門	2	○	
		ミ ク ロ 経 済 学 入 門	2	○	
		統 計 学 入 門	2	○	
		経 済 数 学 入 門	2		
		日 本 経 済 入 門	2		
		世 界 経 済 入 門	2		
		経 済 史 入 門	2		
	基礎科目	マ ク ロ 経 済 学	2	○	
		ミ ク ロ 経 済 学	2	○	
		統 計 学 I	2	○	
		経 済 統 計 論 I	2	○	
		計 量 経 済 学 I	2	○	
		情 報 シ ス テ ム 構 築 論 I	2	○	
		経 済 デ ー タ 分 析	2	○	
		経 済 数 学	2	○	
		日 本 経 済 論 I	2	○	
		日 本 経 済 史 I	2	○	
		西 洋 経 済 史 I	2	○	
		経 済 学 史 I	2	○	
		社 会 経 済 学	2	○	
		経 済 文 献 講 読	2	○	
上級科目	上 級 マ ク ロ 経 済 学	2			
	上 級 ミ ク ロ 経 済 学	2			
	統 計 学 II	2			
	経 済 統 計 論 II	2			
	計 量 経 済 学 II	2			
	情 報 シ ス テ ム 構 築 論 II	2			
	上 級 経 済 デ ー タ 分 析	2			
	経 済 学 史 II	2			
	E c o n o m i c s	2			
	経 済 学 特 殊 講 義	2			

専門展開科目	基幹展開科目	金融論 I	2	○	
		財政学 I	2	○	
		経済政策 I	2	○	
		公共経済学 I	2	○	
		国際経済学 I	2	○	
		産業組織論	2	○	
		地域経済論	2	○	
		行動経済学	2	○	
	産業経済・ファイナンスコース指定科目	中小企業論	2		
		農業経済論	2		
		流通経済論	2		
		観光経済論	2		
		国際産業論	2		
		グローバル自動車産業論	2		
		アジア比較経済論	2		
		金融論 II	2		
		金融システム論	2		
		国際金融論	2		
		国際金融市場論	2		
		経済予測論	2		
	産業経済・ファイナンス特殊講義	2			
	公共経済・経済政策コース指定科目	財政学 II	2		
		経済政策 II	2		
		公共経済学 II	2		
		社会保障論	2		
		社会政策論	2		
		経済システム論	2		
地方財政学		2			
労働経済学		2			
環境経済学		2			
開発経済論		2			
国際開発論		2			
国際経済政策		2			
ジェンダー経済学		2			
公共経済・経済政策特殊講義	2				

地域経済・グローバルコース指定科目	都市経済論 地域政策論 日本経済史Ⅱ 西洋経済史Ⅱ 国際経済学Ⅱ 日本経済論Ⅱ アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論 中国経済論 韓国経済論 アジア太平洋経済論 多国籍企業論 グローバル経済と社会思想 地域経済・グローバル特殊講義	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
キャリアスキル	フィールドスタディⅠ フィールドスタディⅡ ウェブデザイン論 ERE(経済学検定試験) 特別講義 外国事情Ⅰ 外国事情Ⅱ 外国事情Ⅲ 外国事情Ⅳ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		留学学修成果認定科目
演習系科目	入門演習 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業業研究	2 2 4 4 4	○ ○ ○	
隣接・関連分野	人文・社会科学特殊講義 グローバル理解特殊講義 憲法・基本的人権Ⅰ 憲法・基本的人権Ⅱ 憲法・統治機構Ⅰ 憲法・統治機構Ⅱ 行政法総論Ⅰ	2 2 2 2 2 2 2		

	行政法総論 II	2		
	刑法総論 I	2		
	刑法総論 II	2		
	民法総則 I	2		
	民法総則 II	2		
	契約法	2		
	企業取引法	2		
	会社法 I	2		
	会社法 II	2		
	労働法 I	2		
	労働法 II	2		
	経済学	2		
	行政学 I	2		
	行政学 II	2		
	国際経営論	2		
	ファイナンス論	2		
	証券分析論	2		
	金融工学	2		
	商業簿記初級	2		
	商業簿記中級 I	2		
	商業簿記中級 II	2		
	税法入門	2		
	税務会計基礎理論	2		
	税務会計応用理論	2		
	マーケティング論	2		
	消費者行動論 I	2		
	グローバルスタディーズ入門	2		
	Global Economic Affairs	2		
	コミュニケーション論入門	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
教職課程科目	教育方法論	2		
	社会科・地歴科教育法	2		
	社会科・公民科教育法	2		
	社会科教育法	2		
	商業科教育法 I	2		

職業指導	1	※
日本史	1	※
外国史	1	※
地理学通論	1	※
地誌学	1	※
哲学・倫理学	1	※

卒業要件

- 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計36単位以上を修得しなければならない。
 - 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2ヵ国語10単位
 - 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 - スポーツ・健康分野 2単位
- 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計74単位以上を修得しなければならない。

専門共通科目	導入科目	8単位以上
	基礎科目	10単位以上
	上級科目	4単位以上
専門展開科目	基幹展開科目	4単位以上
	所属コース指定科目	8単位以上
	専門展開科目全体から	14単位以上
専門教育科目全体の中から		26単位以上
合計		74単位以上

- 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から14単位以上を修得しなければならない。
- その他授業科目の履修については、別に定める。
- 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含めない。

備考

- 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第1項別表 国際コミュニケーション学部

1 共通教養科目 (学科共通)

区分	科目名	単位数	主要授業科目	備考	
外国語分野	英語	R e a d i n g I	1		
		R e a d i n g II	1		
		R e a d i n g III	1		
		R e a d i n g IV	1		
		P r a c t i c a l E n g l i s h	1		
		T O E I C I	1		
		T O E I C II	2		
		T O E I C III	2		
		C u r r e n t E n g l i s h I	2		
		C u r r e n t E n g l i s h II	2		
		W r i t i n g I	2		
		W r i t i n g II	2		
		A d v a n c e d R e a d i n g I	2		
		A d v a n c e d R e a d i n g II	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s I	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s II	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s III	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s IV	2		
		E n g l i s h S e m i n a r I	2		
	E n g l i s h S e m i n a r II	2			
	E n g l i s h S e m i n a r III	2			
	E n g l i s h S e m i n a r IV	2			
ドイツ語		ド イ ツ 語 入 門 I	1		
		ド イ ツ 語 入 門 II	1		
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1		
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1		
		ド イ ツ 語 応 用 I	2		
		ド イ ツ 語 応 用 II	2		
		ド イ ツ 語 演 習 I	2		
		ド イ ツ 語 演 習 II	2		
		ド イ ツ 語 演 習 III	2		

	ドイツ語演習Ⅳ	2		
フランス語	フランス語入門Ⅰ	1		
	フランス語入門Ⅱ	1		
	フランス語基礎Ⅰ	1		
	フランス語基礎Ⅱ	1		
	フランス語応用Ⅰ	2		
	フランス語応用Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅰ	2		
	フランス語演習Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅲ	2		
	フランス語演習Ⅳ	2		
中国語	中国語入門Ⅰ	1		
	中国語入門Ⅱ	1		
	中国語基礎Ⅰ	1		
	中国語基礎Ⅱ	1		
	中国語応用Ⅰ	2		
	中国語応用Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅰ	2		
	中国語演習Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅲ	2		
	中国語演習Ⅳ	2		
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2		
ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1		
	ロシア語入門Ⅱ	1		
	ロシア語基礎Ⅰ	1		

	ロ	シ	ア	語	基	礎	Ⅱ	1		
	ロ	シ	ア	語	応	用	Ⅰ	2		
	ロ	シ	ア	語	応	用	Ⅱ	2		
	ロ	シ	ア	語	演	習	Ⅰ	2		
	ロ	シ	ア	語	演	習	Ⅱ	2		
	ロ	シ	ア	語	演	習	Ⅲ	2		
	ロ	シ	ア	語	演	習	Ⅳ	2		
タイ語	タ	イ		語	入	門	Ⅰ	1		
	タ	イ		語	入	門	Ⅱ	1		
	タ	イ		語	基	礎	Ⅰ	1		
	タ	イ		語	基	礎	Ⅱ	1		
	タ	イ		語	応	用	Ⅰ	2		
	タ	イ		語	応	用	Ⅱ	2		
	タ	イ		語	演	習	Ⅰ	2		
	タ	イ		語	演	習	Ⅱ	2		
	タ	イ		語	演	習	Ⅲ	2		
日本語	日		本		語		Ⅰ	1		外国人留学生履修科目
	日		本		語		Ⅱ	1		
	日		本		語		Ⅲ	1		
	日		本		語		Ⅳ	1		
	日		本		語		Ⅴ	1		
	日		本		語		Ⅵ	1		
	日		本		語		Ⅶ	1		
	日		本		語		Ⅷ	1		
	専	門	日	本	語		Ⅰ	2		
	専	門	日	本	語		Ⅱ	2		
	ビ	ジ	ネ	ス	日	本	語	Ⅰ	2	
	ビ	ジ	ネ	ス	日	本	語	Ⅱ	2	
	日		本		事	情		Ⅰ	2	
	日		本		事	情		Ⅱ	2	
その他	世	界	の	言	語		Ⅰ	2		
	世	界	の	言	語		Ⅱ	2		
	世	界	の	言	語		Ⅲ	2		

	世界の言語 IV	2	}	海外短期語学 セミナー学修 成果認定科目		
	海外セミナー I	2				
	海外セミナー II	2				
	海外セミナー III	2				
	海外セミナー IV	2				
	外国理解 I	2			}	留学学修成果 認定科目
	外国理解 II	2				
	外国理解 III	2				
	外国理解 IV	2				
数理・情報分野	データサイエンス入門	2				
	情報リテラシー・入門	1				
	情報リテラシー・応用	1				
	情報倫理	2				
	情報デザイン	2				
	情報の科学	2				
	情報と社会	2				
	コンピュータ科学の基礎	2				
	社会データ分析入門	2				
	プレゼンテーション技術	2				
	プログラミング	2				
	数理科学入門	2				
	数理科学基礎	2				
	確率論入門	2				
	確率論基礎	2				
	統計学入門	2				
統計学基礎	2					
自然分野	地球の科学	2				
	宇宙の科学	2				
	生命の科学	2				
	物質の科学	2				
	科学と社会	2				
	環境の科学	2				
自然環境と地理	2					

	行 動 生 態 学	2		
	健 康 と 栄 養	2		
	健 康 と 運 動 の 科 学	2		
	ス ポ ー ツ と 動 き の 科 学	2		
社会分野	憲 法	学 学	2	
	法 治	学 学	2	
	政 経	学 学	2	
	経 済	学 学	2	
	国 際	学 論	2	
	社 会	学 論	2	
	現 代	学 論	2	
	社 会	史 学	2	
	社 会	史 学	2	
	歴 史	学 学	2	
	経 営	学 学	2	
人文分野	哲 学	学 学	2	
	現 代	学 学	2	
	言 語	学 学	2	
	民 族	学 学	2	
	民 族	学 学	2	
	宗 教	学 学	2	
	心 理	学 学	2	
	異 文	学 学	2	
	倫 理	学 学	2	
	文 学	学 学	2	
	文 学	学 学	2	
	美 術	学 学	2	
	映 画	学 学	2	
	音 楽	学 学	2	
	演 劇	学 学	2	
総合	総 合	科 目	2	
	総 合	演 習	I 2	
	総 合	演 習	II 2	
	総 合	演 習	III 2	
	総 合	演 習	IV 2	

	キャリアデザイン基礎	2		
	キャリアデザイン応用	2		
	自治体首長講義	2		
	キャリアデザイン特殊講義	2		寄附・連携講座
	日本理解Ⅰ	2		
	日本理解Ⅱ	2		
	日本発信基礎	2		
	日本発信応用	2		
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2		
	スポーツ実技Ⅰ	1		
	スポーツ実技Ⅱ	1		
	スポーツ実技Ⅲ	1		
	スポーツ実技Ⅳ	1		

2 専門教育科目

(1) 英語学科

区分	科目名	単位数	主要授業科目	備考
基幹科目	国際コミュニケーション学入門	2	○	
	言語学入門	2		
	言語学概論	2		
	言語文化論	2		
	現代アメリカ事情	2		
	現代日本・アジア事情	2		
	現代ヨーロッパ事情	2		
	グローバルスタディーズ入門	2		
	Introduction to Cultural Studies	2		
	国際観光学入門	2		
基本科目	コミュニケーション論入門	2		
	日本語論	2		
	フィールドワーク入門	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
	ビジネス英語入門	2		
	第二言語学習法 1	2		
	第二言語学習法 2	2		
	第二言語学習法 3	2		
	第二言語学習法 4	2		
	メディアリテラシー入門	2		
	ウェブデザイン入門 1	2		
	ウェブデザイン入門 2	2		
	地域研究特殊講義	2		
	異文化芸術論	2		
	中国語テキスト講読Ⅰ	2		
	中国語テキスト講読Ⅱ	2		
	中国語テキスト講読Ⅲ	2		
中国語テキスト講読Ⅳ	2			

	Advanced English Conversation I	2		}	単位認定科目
	Advanced English Conversation II	2			
	国際交流活動 1	2			
	国際交流活動 2	2			
	国際交流活動 3	2			
	国際交流活動 4	2			
	英語検定試験 I	2			
	英語検定試験 II	2			
演習科目	入門ゼミ	2			
	演習 I	2	○		
	演習 II	2	○		
	演習 III	2	○		
	演習 IV	2	○		
	卒業研究	4	○		
	国際フィールドワーク I	2			
国際フィールドワーク II	2				
外国語・展開科目	英語	Basic Communication Skills I	1	○	
		Basic Communication Skills II	1	○	
		Developing Communication Skills I	1	○	
		Developing Communication Skills II	1	○	
		Intermediate Communication Skills I	1	○	
		Intermediate Communication Skills II	1	○	
		Advanced Communication Skills I	1	○	
		Advanced Communication Skills II	1	○	
		Basic Writing	2	○	
		Paragraph Writing	2	○	
		English Presentations and Writing I	2	○	
		English Presentations and Writing II	2	○	
		Academic Writing	2		
		English Language and Culture	2		
		Advanced Communication Skills III	2		
Advanced Communication Skills IV	2				

関連する科目	英語音声学	2		
	英語の構造	2		
	日英翻訳法	2		
	多言語習得論	2		
	Global Legacies : History, Language, Culture	2		
	Mass Media English	2		
	英語の歴史	2		
	Business English I	2		
	Business English II	2		
	日英通訳法	2		
	Tourism and Airline Industries	2		
	Business Communication	2		
	Business English III	2		
	Business English IV	2		
	English Grammar I	2		
	English Grammar II	2		
	英語学概論 I	2		
	英語学概論 II	2		
	北米の文化と歴史	2		
アメリカ文学講読	2			
イギリス文学講読	2			
隣接・関連分野	国際経営論	2		
	国際マーケティング論	2		
	生産システムの国際移転	2		
	異文化マネジメント	2		
	比較経営史	2		
	国際ビジネス実践	2		
	国際経済論	2		
	国際流通論	2		
	アジア企業論	2		
	アジア経営比較論	2		
	中国国際経営論	2		
	中国ビジネス論	2		

	ヨーロッパビジネス論	2		
	アメリカビジネス論	2		
	マクロ経済学入門	2		
	ミクロ経済学入門	2		
	日本経済入門	2		
	金融論 I	2		
	アジア比較経済論	2		
	国際産業論	2		
	日本経済論 I	2		
	日本経済論 II	2		
	日本外交論	2		
	アジア社会論	2		
	日中ビジネス会話 I	2		
	日中ビジネス会話 II	2		
	比較法	2		
	フランス法	2		
	民法総則 I	2		
	民法総則 II	2		
	会社法 I	2		
	会社法 II	2		
	労働法 I	2		
	労働法 II	2		
	外国事情 I	2	}	留学学修成果 認定科目
	外国事情 II	2		
	外国事情 III	2		
	外国事情 IV	2		
教職課程科目	教育方法論	2		
	英語科教育法	2		
	英語科指導法 I	2		
	英語科指導法 II	2		

(2) 国際教養学科

区分	科目名	単位数	主要授業科目	備考
基幹科目	国際コミュニケーション学入門	2	○	
	言語学入門	2		
	言語学概論	2		
	言語文化論	2		
	現代アメリカ事情	2		
	現代日本・アジア事情	2		
	現代ヨーロッパ事情	2		
	グローバルスタディーズ入門	2		
	Introduction to Cultural Studies	2		
	国際観光学入門	2		
基本科目	コミュニケーション論入門	2		
	日本語論	2		
	フィールドワーク入門	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
	ビジネス英語入門	2		
	第二言語学習法 1	2		
	第二言語学習法 2	2		
	第二言語学習法 3	2		
	第二言語学習法 4	2		
	メディアリテラシー入門	2		
	ウェブデザイン入門 1	2		
	ウェブデザイン入門 2	2		
	地域研究特殊講義	2		
	異文化芸術論	2		
	中国語テキスト講読Ⅰ	2		
	中国語テキスト講読Ⅱ	2		
	中国語テキスト講読Ⅲ	2		
	中国語テキスト講読Ⅳ	2		

	Advanced English Conversation I	2		}	単位認定科目
	Advanced English Conversation II	2			
	国際交流活動 1	2			
	国際交流活動 2	2			
	国際交流活動 3	2			
	国際交流活動 4	2			
	英語検定試験 I	2			
	英語検定試験 II	2			
演習科目	入門ゼミ	2			
	S e m i n a r I	2	○		
	S e m i n a r II	2	○		
	国際教養ゼミ	2			
	S e m i n a r III	2	○		
	S e m i n a r IV	2	○		
	S e m i n a r V	2			
	S e m i n a r VI	2			
	S e m i n a r VII	2			
	S e m i n a r VIII	2			
	演習 I	2	○		
	演習 II	2	○		
	演習 III	2	○		
	演習 IV	2	○		
	卒業研究	4	○		
	国際フィールドワーク I	2			
国際フィールドワーク II	2				
展開科目	アメリカ研究	アメリカ文化論	2		
		アメリカ社会論	2		
		History of American Cultures	2		
		アメリカ経済論	2		
		American Cultures	2		
		American Society and Politics	2		

日本・アジア研究	日本・アジア文化論(中国)	2		
	日本・アジア文化論(韓国)	2		
	日本・アジア言語文化論	2		
	日本・アジア文化論(日本)	2		
	日本・アジア文化論(東南アジア)	2		
	日本・アジア文化論(南アジア)	2		
	日本・アジア文化交流論	2		
日本の生活文化と伝統	2			
ヨーロッパ研究	ヨーロッパ文化論	2		
	ヨーロッパ文化史	2		
	ヨーロッパ社会論	2		
	ヨーロッパ現代文化論	2		
	ヨーロッパ環境文化論	2		
ヨーロッパ宗教文化論	2			
グローバルスタディーズ	国際政治学	2		
	安全保障論	2		
	Global Economic Affairs	2		
	地球環境論	2		
	国際開発論	2		
	平和研究	2		
	国際公共政策論	2		
デジタルカルチャー	Advanced Introduction to Cultural Studies	2		
	Society and Cultural Studies	2		
	Popular Culture	2		
	Media Message Analysis	2		
	Media Studies	2		
	Multicultural Studies	2		
(異文化理解) 国際観光学	国際観光学概論	2		
	観光メディア論	2		
	観光文化論概論	2		
	世界遺産論	2		
	国際観光学特殊講義	2		
	観光文化論特殊講義	2		

隣接・関連分野	国際経営論	2		
	国際マーケティング論	2		
	生産システムの国際移転	2		
	異文化マネジメント	2		
	比較経営史	2		
	国際ビジネス実践	2		
	国際経済論	2		
	国際流通論	2		
	アジア企業論	2		
	アジア経営比較論	2		
	中国国際経営論	2		
	中国ビジネス論	2		
	ヨーロッパビジネス論	2		
	アメリカビジネス論	2		
	マクロ経済学入門	2		
	ミクロ経済学入門	2		
	日本経済入門	2		
	金融論 I	2		
	アジア比較経済論	2		
	国際産業論	2		
	日本経済論 I	2		
	日本経済論 II	2		
	日本外交論	2		
	アジア社会論	2		
	日中ビジネス会話 I	2		
	日中ビジネス会話 II	2		
	比較法	2		
	フランス法	2		
	憲法・基本的人権 I	2		
	憲法・基本的人権 II	2		
	憲法・統治機構 I	2		
	憲法・統治機構 II	2		
民法総則 I	2			

	民法総則 II	2		
	会社法 I	2		
	会社法 II	2		
	労働法 I	2		
	労働法 II	2		
	外国事情 I	2	}	留学学修成果 認定科目
	外国事情 II	2		
	外国事情 III	2		
	外国事情 IV	2		
教職課程科目	教育方法論	2		
	社会科・地歴科教育法	2		
	社会科・公民科教育法	2		
	社会科教育法	2		
	日本史	1		※
	外国史	1		※
	地理学通論	1		※
	地誌学	1		※
	社会学概論	1		※
哲学・倫理学	1		※	

卒業要件

- 1 共通教養科目は、次に定めるところにより合計32単位(外国人留学生は合計36単位)以上を修得しなければならない。
 - (1) 外国語分野
 - イ 日本人学生の場合
必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2カ国語10単位
 - ロ 外国人留学生の場合
必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語8単位、計2カ国語14単位
 - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 - (3) スポーツ・健康分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次に定めるところにより必要な単位数を修得しなければならない。
 - (1) 英語学科 52単位以上
 - イ 基幹科目・基本科目 10単位以上

ロ	演習科目	12単位以上
ハ	外国語・展開科目	30単位以上
(2)	国際教養学科	60単位以上
イ	基幹科目・基本科目	10単位以上
ロ	演習科目	20単位以上
ハ	展開科目	30単位以上

- 3 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目並びに他学科の指定する科目の中から、英語学科については40単位(外国人留学生は36単位)以上、国際教養学科については32単位(外国人留学生は28単位)以上を含め、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 4 その他授業科目の履修については、別に定める。
- 5 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

- 1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
 なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第1項別表 法学部 法学科

1 共通教養科目

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考
外国語分野	英語	R e a d i n g I	1	
		R e a d i n g II	1	
		R e a d i n g III	1	
		R e a d i n g IV	1	
		P r a c t i c a l E n g l i s h	1	
		T O E I C I	1	
		T O E I C II	2	
		T O E I C III	2	
		C u r r e n t E n g l i s h I	2	
		C u r r e n t E n g l i s h II	2	
		W r i t i n g I	2	
		W r i t i n g II	2	
		A d v a n c e d R e a d i n g I	2	
		A d v a n c e d R e a d i n g II	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s I	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s II	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s III	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s IV	2	
		E n g l i s h S e m i n a r I	2	
		E n g l i s h S e m i n a r II	2	
E n g l i s h S e m i n a r III	2			
E n g l i s h S e m i n a r IV	2			
ドイツ語		ド イ ツ 語 入 門 I	1	
		ド イ ツ 語 入 門 II	1	
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1	
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1	
		ド イ ツ 語 応 用 I	2	
		ド イ ツ 語 応 用 II	2	
		ド イ ツ 語 演 習 I	2	
		ド イ ツ 語 演 習 II	2	

	ドイツ語演習Ⅲ	2		
	ドイツ語演習Ⅳ	2		
フランス語	フランス語入門Ⅰ	1		
	フランス語入門Ⅱ	1		
	フランス語基礎Ⅰ	1		
	フランス語基礎Ⅱ	1		
	フランス語応用Ⅰ	2		
	フランス語応用Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅰ	2		
	フランス語演習Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅲ	2		
	フランス語演習Ⅳ	2		
中国語	中国語入門Ⅰ	1		
	中国語入門Ⅱ	1		
	中国語基礎Ⅰ	1		
	中国語基礎Ⅱ	1		
	中国語応用Ⅰ	2		
	中国語応用Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅰ	2		
	中国語演習Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅲ	2		
	中国語演習Ⅳ	2		
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2		
ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1		
	ロシア語入門Ⅱ	1		
	ロシア語基礎Ⅰ	1		

	ロシア語基礎	II	1		
	ロシア語応用	I	2		
	ロシア語応用	II	2		
	ロシア語演習	I	2		
	ロシア語演習	II	2		
	ロシア語演習	III	2		
	ロシア語演習	IV	2		
タイ語	タイ語入門	I	1		
	タイ語入門	II	1		
	タイ語基礎	I	1		
	タイ語基礎	II	1		
	タイ語応用	I	2		
	タイ語応用	II	2		
	タイ語演習	I	2		
	タイ語演習	II	2		
	タイ語演習	III	2		
	タイ語演習	IV	2		
日本語	日本語 I	I	1	外国人留学生履修科目	
	日本語 II	II	1		
	日本語 III	III	1		
	日本語 IV	IV	1		
	日本語 V	V	1		
	日本語 VI	VI	1		
	日本語 VII	VII	1		
	日本語 VIII	VIII	1		
	専門日本語 I	I	2		
	専門日本語 II	II	2		
	ビジネス日本語 I	I	2		
	ビジネス日本語 II	II	2		
	日本事情 I	I	2		
	日本事情 II	II	2		
その他	世界の言語 I	I	2		
	世界の言語 II	II	2		
	世界の言語 III	III	2		
	世界の言語 IV	IV	2		

	海外セミナーⅠ	2	}	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
	海外セミナーⅡ	2		
	海外セミナーⅢ	2		
	海外セミナーⅣ	2		
	外国理解Ⅰ	2	}	留学学修成果認定科目
	外国理解Ⅱ	2		
	外国理解Ⅲ	2		
	外国理解Ⅳ	2		
数理・情報分野	データサイエンス入門	2		
	情報リテラシー・入門	1		
	情報リテラシー・応用	1		
	情報倫理	2		
	情報デザイン	2		
	情報の科学	2		
	情報と社会	2		
	コンピュータ科学の基礎	2		
	社会データ分析入門	2		
	プレゼンテーション技術	2		
	プログラミング	2		
	数理科科学入門	2		
	数理科科学基礎	2		
	確率論入門	2		
	確率論基礎	2		
	統計学入門	2		
統計学基礎	2			
自然分野	地球の科学	2		
	宇宙の科学	2		
	生命の科学	2		
	物質の科学	2		
	科学と社会	2		
	環境の科学	2		
	自然環境と地理	2		
	行動生態学	2		
健康と栄養	2			

	健康と運動の科学	2		
	スポーツと動きの科学	2		
社会分野	経済学	2		
	国際関係論	2		
	社会論	2		
	現代社会論	2		
	社会思想史	2		
	歴史学	2		
	経営学	2		
人文分野	哲学	2		
	現代の思想	2		
	現代言語と人間	2		
	民族と文化	2		
	民族と国家	2		
	宗教学	2		
	心理学	2		
	異文化理解	2		
	倫理化学通論	2		
	文芸学	2		
	美術と人間	2		
	映画と人間	2		
	音楽と人間	2		
	演劇と人間	2		
総合	総合科目	2		
	総合演習Ⅰ	2		
	総合演習Ⅱ	2		
	総合演習Ⅲ	2		
	総合演習Ⅳ	2		
	キャリアデザイン基礎	2		
	キャリアデザイン応用	2		
	自治体首長講義	2		
	キャリアデザイン特殊講義	2		
	日本理解Ⅰ	2		
	日本理解Ⅱ	2		

	日 本 発 信 基 礎	2		
	日 本 発 信 応 用	2		
健康分野 スポーツ・	ス ポ ー ツ ・ 健 康 演 習	2		
	ス ポ ー ツ 実 技 I	1		
	ス ポ ー ツ 実 技 II	1		
	ス ポ ー ツ 実 技 III	1		
	ス ポ ー ツ 実 技 IV	1		

2 専門教育科目

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考
部 入 門 門	法 学 入 門	2	○	
	政 治 学 入 門	2	○	
基礎法・新領域部門	法 哲 学 I	2		
	法 哲 学 II	2		
	法 制 史 I	2		
	法 制 史 II	2		
	法 思 想 史	2		
	法 社 会 学	2		
	比 較 法	2		
	英 米 法	2		
	フ ラ ン ス 法	2		
	ド イ ツ 法	2		
	ヨ ー ロ ッ パ 法	2		
	医 事 法	2		
	科 学 技 術 と 法	2		
公法部門	憲 法 ・ 基 本 的 人 権 I	2	○	
	憲 法 ・ 基 本 的 人 権 II	2	○	
	憲 法 ・ 統 治 機 構 I	2		
	憲 法 ・ 統 治 機 構 II	2		
	憲 法 L S I	2		
	憲 法 L S II	2		
	行 政 法 総 論 I	2		
	行 政 法 総 論 II	2		
	行 政 救 済 法	2		
	行 政 法 各 論 (地 方 自 治 法)	2		
	租 税 法 I	2		
	租 税 法 II	2		
	国 際 法 総 論 I	2		
	国 際 法 総 論 II	2		
	国 際 法 各 論	2		

	國際組織法	2		
	刑法總論 I	2	○	
	刑法總論 II	2	○	
	刑法各論 I	2		
	刑法各論 II	2		
	刑事訴訟法 I	2		
	刑事訴訟法 II	2		
	刑事政策 I	2		
	刑事政策 II	2		
	刑法 L S I	2		
	刑法 L S II	2		
	刑法 L S III	2		
私法部門	民法總則 I	2	○	
	民法總則 II	2	○	
	物權法	2		
	債權法 I	2		
	債權法 II	2		
	契約法	2		
	不法行為法	2		
	家族法 (親族)	2		
	家族法 (相續)	2		
	民法 L S I	2		
	民法 L S II	2		
	民法 L S III	2		
	民法 L S IV	2		
	民法 L S V	2		
	民法 L S VI	2		
	民法 L S VII	2		
	民法 L S VIII	2		
	民事訴訟法 I	2		
	民事訴訟法 II	2		
	民事訴訟法 L S I	2		
	民事訴訟法 L S II	2		
	民事執行・保全法	2		
	倒産法	2		

	企 業 取 引 法	2		
	会 社 法 I	2		
	会 社 法 II	2		
	商 法 L S I	2		
	商 法 L S II	2		
	支 払 決 済 法	2		
	金 融 商 品 取 引 法	2		
	保 險 法	2		
	国 際 私 法	2		
	国 際 取 引 法	2		
	劳 働 法 I	2		
	劳 働 法 II	2		
	社 会 保 障 法 I	2		
	社 会 保 障 法 II	2		
	経 済 法	2		
	知 的 所 有 権 法	2		
	消 費 者 法	2		
海 外 留 学 部 門	海 外 法 政 セ ミ ナ ー 入 門	2		
	海 外 法 政 セ ミ ナ ー I	2		
	海 外 法 政 セ ミ ナ ー II	2		
	海 外 法 政 セ ミ ナ ー III	2		
	海 外 法 政 セ ミ ナ ー IV	2		
	外 国 事 情 I	2		
	外 国 事 情 II	2		
	外 国 事 情 III	2		
	外 国 事 情 IV	2		
行 政 ・ 政 治 部 門	政 治 学 I	2		
	政 治 学 II	2		
	行 政 学 I	2		
	行 政 学 II	2		
	日 本 政 治 論	2		
	日 本 政 治 思 想 史	2		
	近 現 代 日 本 政 治 史	2		
	国 際 政 治 学 I	2		
	国 際 政 治 学 II	2		

	欧 米 政 治 論 I	2		
	欧 米 政 治 論 II	2		
	ヨ ー ロ ッ パ 政 治 思 想 史	2		
	現 代 政 治 理 論	2		
	自 治 体 職 員 論	2		
	地 域 政 策 概 論	2		
	地 方 自 治 論 I	2		
	地 方 自 治 論 II	2		
	公 共 政 策 論 I	2		
	公 共 政 策 論 II	2		
演 習 部 門	入 門 演 習	2	○	
	基 礎 演 習 I	2	○	
	基 礎 演 習 II	2	○	
	基 礎 演 習 III	2	○	
	外 国 法 政 研 究 I	2	○	
	外 国 法 政 研 究 II	2	○	
	外 国 法 政 研 究 III	2	○	
	外 国 法 政 研 究 IV	2	○	
	模 擬 裁 判 I	2	○	
	模 擬 裁 判 II	2	○	
	専 門 演 習 I	4	○	
	専 門 演 習 II	4	○	
	卒 業 論 文	4		
	判 例 研 究 (憲 法)	2		
	判 例 研 究 (民 事 法)	2		
判 例 研 究 (刑 事 法)	2			
部 門 特 殊	法 律 学 特 殊 講 義	2		
	政 治 学 特 殊 講 義	2		
隣 接 ・ 関 連 分 野	会 計 学 入 門	2		
	流 通 論	2		
	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2		
	国 際 經 営 論	2		
	企 業 論 I	2		
	企 業 論 II	2		
	国 際 經 済 論	2		

	財 務 諸 表 論	2	
	会 計 監 査 論 I	2	
	会 計 監 査 論 II	2	
	日 中 関 係 論	2	
	日 中 ビ ジ ネ ス 論	2	
	マ ク ロ 経 済 学 入 門	2	
	ミ ク ロ 経 済 学 入 門	2	
	日 本 経 済 入 門	2	
	日 本 経 済 論 I	2	
	金 融 論 I	2	
	財 政 学 I	2	
	公 共 経 済 学 I	2	
	金 融 論 II	2	
	国 際 金 融 論	2	
	財 政 学 II	2	
	公 共 経 済 学 II	2	
	労 働 経 済 学	2	
	日 本 経 済 論 II	2	
	グ ローバルスタディーズ入門	2	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 入 門	2	
	異文化間コミュニケーション	2	
	Business Communication	2	
教職課程科目	教 育 方 法 論	2	
	社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
	社 会 科 教 育 法	2	
	日 本 史	1	※
	外 国 史	1	※
	地 理 学 通 論	1	※
	地 誌 学	1	※
	社 会 学 概 論	1	※

卒業要件

1 共通教養科目は、次に定めるところにより合計32単位以上を修得しなければならない。

(1) 外国語分野

イ 日本人学生の場合

第1外国語(英語) 6単位以上

- 第2外国語(英語以外) 4単位以上
- ロ 外国人留学生の場合
 - 第1外国語(英語) 2単位以上
 - 第2外国語(日本語) 8単位以上
- (2) 数理・情報分野 4単位以上
- (3) 自然分野 4単位以上
- (4) 社会分野 2単位以上
- (5) 人文分野 4単位以上
- (6) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から6単位以上
- (7) スポーツ・健康分野 2単位以上

2 専門教育科目は、次に定めるところにより必要な単位数を修得しなければならない。

(1) 司法コース

基礎法・新領域部門4単位以上、公法部門18単位以上、私法部門26単位以上、行政・政治部門4単位以上、演習部門8単位以上及び専門教育科目全体から10単位以上を含め合計70単位以上

(2) 行政コース

基礎法・新領域部門4単位以上、公法部門18単位以上、私法部門16単位以上、行政・政治部門12単位以上、演習部門8単位以上及び専門教育科目全体から12単位以上を含め合計70単位以上

(3) 企業コース

基礎法・新領域部門4単位以上、公法部門16単位以上、私法部門24単位以上、行政・政治部門6単位以上、演習部門8単位以上及び専門教育科目全体から12単位以上を含め合計70単位以上

(4) 法科大学院連携コース

基礎法・新領域部門4単位以上、公法部門10単位以上、私法部門28単位以上、行政・政治部門4単位以上、演習部門6単位以上及び専門教育科目全体から18単位以上を含め合計70単位以上

3 上記のほか、各授業科目区分全体の中から、次に定めるところにより必要な単位数を含め、合計124単位以上を修得しなければならない。

- (1) 司法コース 22単位以上
- (2) 行政コース 22単位以上
- (3) 企業コース 22単位以上
- (4) 法科大学院連携コース 22単位以上

4 その他授業科目の履修については、別に定める。

5 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

- 1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第1項別表 経営学部

1 共通教養科目 (学科共通)

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考
外国語分野	英語	R e a d i n g I	1	
		R e a d i n g II	1	
		R e a d i n g III	1	
		R e a d i n g IV	1	
		P r a c t i c a l E n g l i s h	1	
		T O E I C I	1	
		T O E I C II	2	
		T O E I C III	2	
		C u r r e n t E n g l i s h I	2	
		C u r r e n t E n g l i s h II	2	
		W r i t i n g I	2	
		W r i t i n g II	2	
		A d v a n c e d R e a d i n g I	2	
		A d v a n c e d R e a d i n g II	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s I	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s II	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s III	2	
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s IV	2	
		E n g l i s h S e m i n a r I	2	
		E n g l i s h S e m i n a r II	2	
E n g l i s h S e m i n a r III	2			
E n g l i s h S e m i n a r IV	2			
ドイツ語	ドイツ語	ド イ ツ 語 入 門 I	1	
		ド イ ツ 語 入 門 II	1	
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1	
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1	
		ド イ ツ 語 応 用 I	2	
		ド イ ツ 語 応 用 II	2	
		ド イ ツ 語 演 習 I	2	
		ド イ ツ 語 演 習 II	2	
		ド イ ツ 語 演 習 III	2	

	ドイツ語演習Ⅳ	2		
フランス語	フランス語入門Ⅰ	1		
	フランス語入門Ⅱ	1		
	フランス語基礎Ⅰ	1		
	フランス語基礎Ⅱ	1		
	フランス語応用Ⅰ	2		
	フランス語応用Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅰ	2		
	フランス語演習Ⅱ	2		
	フランス語演習Ⅲ	2		
	フランス語演習Ⅳ	2		
中国語	中国語入門Ⅰ	1		
	中国語入門Ⅱ	1		
	中国語基礎Ⅰ	1		
	中国語基礎Ⅱ	1		
	中国語応用Ⅰ	2		
	中国語応用Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅰ	2		
	中国語演習Ⅱ	2		
	中国語演習Ⅲ	2		
	中国語演習Ⅳ	2		
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1		
	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1		
	韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2		
	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2		
ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1		
	ロシア語入門Ⅱ	1		
	ロシア語基礎Ⅰ	1		
	ロシア語基礎Ⅱ	1		

	ロシア語応用 I	2		
	ロシア語応用 II	2		
	ロシア語演習 I	2		
	ロシア語演習 II	2		
	ロシア語演習 III	2		
	ロシア語演習 IV	2		
タイ語	タイ語入門 I	1		
	タイ語入門 II	1		
	タイ語基礎 I	1		
	タイ語基礎 II	1		
	タイ語応用 I	2		
	タイ語応用 II	2		
	タイ語演習 I	2		
	タイ語演習 II	2		
	タイ語演習 III	2		
	タイ語演習 IV	2		
日本語	日本語 I	1	外国人留学生履修科目	
	日本語 II	1		
	日本語 III	1		
	日本語 IV	1		
	日本語 V	1		
	日本語 VI	1		
	日本語 VII	1		
	日本語 VIII	1		
	専門日本語 I	2		
	専門日本語 II	2		
	ビジネス日本語 I	2		
	ビジネス日本語 II	2		
	日本事情 I	2		
	日本事情 II	2		
その他	世界の言語 I	2		
	世界の言語 II	2		
	世界の言語 III	2		
	世界の言語 IV	2		

	海外セミナーⅠ	2	}	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
	海外セミナーⅡ	2		
	海外セミナーⅢ	2		
	海外セミナーⅣ	2		
	外国理解Ⅰ	2	}	留学学修成果認定科目
	外国理解Ⅱ	2		
	外国理解Ⅲ	2		
	外国理解Ⅳ	2		
数理・情報分野	データサイエンス入門	2		
	情報リテラシー・入門	1		
	情報リテラシー・応用	1		
	情報倫理	2		
	情報デザイン	2		
	情報の科学	2		
	情報と社会	2		
	コンピュータ科学の基礎	2		
	社会データ分析入門	2		
	プレゼンテーション技術	2		
	数理学入門	2		
	数理学基礎	2		
	確率論入門	2		
	確率論基礎	2		
統計学入門	2			
統計学基礎	2			
自然分野	地球の科学	2		
	宇宙の科学	2		
	生命の科学	2		
	物質の科学	2		
	科学と社会	2		
	環境の科学	2		
	自然環境と地理	2		
	行動生態学	2		
	健康と栄養	2		
	健康と運動の科学	2		
	スポーツと動きの科学	2		

社会分野	憲法		法	学	2		
	政		治	学	2		
	経		济	学	2		
	国	際	関	学	2		
	社		会	論	2		
	現	代	社	学	2		
	社	会	思	論	2		
歴		史	史	2			
人文分野	哲			学	2		
	現	代	の	想	2		
	言	語	と	間	2		
	民	族	と	化	2		
	民	族	と	家	2		
	宗		教	学	2		
	心		理	学	2		
	異	文	化	解	2		
	倫	理	学	論	2		
	文			学	2		
	美	術	と	間	2		
	映	画	と	間	2		
	音	楽	と	間	2		
演	劇	と	間	2			
総合	総	合	科	目	2		
	総	合	演	習	2		
	総	合	演	習	2		
	総	合	演	習	2		
	総	合	演	習	2		
	キ	ャ	リ	ア	デ	2	
	キ	ャ	リ	ア	デ	2	
	自	治	体	首	長	2	
	キ	ャ	リ	ア	デ	2	
	日	本	理	解	I	2	
	日	本	理	解	II	2	

	日 本 発 信 基 礎	2		
	日 本 発 信 応 用	2		
野 ス ポ ー ツ ・ 健 康 分	ス ポ ー ツ ・ 健 康 演 習	2		
	ス ポ ー ツ 実 技 I	1		
	ス ポ ー ツ 実 技 II	1		
	ス ポ ー ツ 実 技 III	1		
	ス ポ ー ツ 実 技 IV	1		

2 専門教育科目

(1) 経営学科

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考	
学部共通部門	経 営 学 入 門	2	○		
	会 計 学 入 門	2	○		
	流 通 論	2	○		
	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2	○		
	デ ジ タ ル ビ ジ ネ ス 論	2	○		
	国 際 経 営 論	2	○		
	企 業 法	2	○		
	経 営 統 計	2	○		
	フ ァ イ ナ ン ス 論	2	○		
	ミ ク ロ 経 済 学	2	○		
マ ク ロ 経 済 学	2	○			
ビジネス・マネジメントコース	ビジネス部門	ビジネス・エコノミクスⅠ	2		
		ビジネス・エコノミクスⅡ	2		
		経 営 史 Ⅰ	2		
		経 営 史 Ⅱ	2		
		企 業 論 Ⅰ	2		
		企 業 論 Ⅱ	2		
		コーポレートファイナンス論Ⅰ	2		
		コーポレートファイナンス論Ⅱ	2		
		ベンチャービジネス論	2		
		経 営 立 地 論	2		
マネジメント部門	マネジメント部門	経 営 戦 略 論 Ⅰ	2		
		経 営 戦 略 論 Ⅱ	2		
		経 営 管 理 論 Ⅰ	2		
		経 営 管 理 論 Ⅱ	2		
		生 産 管 理 論 Ⅰ	2		
		生 産 管 理 論 Ⅱ	2		
		人 事 管 理 論	2		
		労 使 関 係 論	2		
		経 営 組 織 論 Ⅰ	2		
		経 営 組 織 論 Ⅱ	2		

		会社法 I	2		
		会社法 II	2		
		アントレプレナーシップ論	2		
流通・マーケティングコース	流通部門	流通政策論	2		
		国際流通論	2		
		金融論	2		
		物流論	2		
		小売経営論	2		
		ロジスティクス論	2		
	マーケティング部門	消費者行動論 I	2		
		消費者行動論 II	2		
		マーケティング戦略論	2		
		マーケティング・リサーチ	2		
		マーケティング・コミュニケーション	2		
		マーケティング・システム	2		
		サービス・マーケティング	2		
		ソーシャル・マーケティング	2		
国際マーケティング論	2				
社会調査方法論	2				
データサイエンスコース	情報システム部門	情報システムの基礎	2		
		プログラミング入門	2		
		データベース演習	2		
		情報通信の基礎	2		
		システムデザイン	2		
		ネットワークとセキュリティ	2		
	門データ解析部	オペレーションズ・リサーチ	2		
		社会とデータサイエンス	2		
		経営データ解析	2		
		マーケティング・リサーチ	2		
	AI部門	AI入門	2		
		AI演習基礎	2		
		シミュレーション論	2		
		AI演習応用	2		

国際ビジネスコース	国際ビジネス部門	国際マーケティング論	2		
		生産システムの国際移転	2		
		異文化マネジメント	2		
		比較経営史	2		
		国際ビジネス実践	2		
		ビジネス英語Ⅰ	2		
		ビジネス英語Ⅱ	2		
		国際経済論	2		
	国際流通論	2			
	アントレプレナーシップ論	2			
	地域ビジネス部門	アジア企業論	2		
		アジア経営比較論	2		
		中国国際経営論	2		
		中国ビジネス論	2		
ヨーロッパビジネス論		2			
アメリカビジネス論		2			
演習部門	外国書講読Ⅰ	2			
	外国書講読Ⅱ	2			
	外国書講読Ⅲ	2			
	外国書講読Ⅳ	2			
	入門ゼミ	2			
	基礎ゼミ	2			
	専門演習Ⅰ	2	○		
	専門演習Ⅱ	2	○		
	専門演習Ⅲ	2	○		
	専門演習Ⅳ	2	○		
卒業論文	4	○			
その他	経営学特殊講義Ⅰ	2			
	経営学特殊講義Ⅱ	2			
	経営学特殊講義Ⅲ	2			
	経営学特殊講義Ⅳ	2			
	経営学特殊講義Ⅴ	2			
	外国事情Ⅰ	2		} 留学学修成果認定科目	
	外国事情Ⅱ	2			
	外国事情Ⅲ	2			
	外国事情Ⅳ	2			

隣接・関連分野	産業組織論	2		
	アメリカ経済論	2		
	ヨーロッパ経済論	2		
	国際産業論	2		
	日本経済論 I	2		
	日本経済論 II	2		
	公共経済学 I	2		
	公共経済学 II	2		
	民法総則 I	2		
	民法総則 II	2		
	契約法	2		
	企業取引法	2		
	労働法 I	2		
	労働法 II	2		
	経済法	2		
	知的所有権法	2		
	消費者法	2		
	金融商品取引法	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
	国際観光学概論	2		
Global Economic Affairs	2			
アジア経済関係論	2			
中国対外経済論	2			
教職課程科目	教育方法論	2		
	社会科・公民科教育法	2		
	社会科教育法	2		
	商業科教育法 I	2		
	情報科教育法 I	2		
	職業指導	1		※
	情報産業論	2		※
	情報化社会と職業	1		※
	日本史	1		※
	外国史	1		※
地理学通論	1		※	

地	誌	学	1	※
社	会	学	1	※
哲	学	・	1	※
	倫	理		
	学			

卒業要件

1 共通教養科目は、次に定めるところにより合計32単位以上を修得しなければならない。

(1) 外国語分野

イ 日本人学生の場合

第1外国語(英語) 6単位以上

第2外国語(英語以外) 4単位以上

ロ 外国人留学生の場合

第1外国語(英語) 2単位以上

第2外国語(日本語) 8単位以上

(2) 数理・情報分野 4単位以上

(3) 自然分野 4単位以上

(4) 社会分野 4単位以上

(5) 人文分野 4単位以上

(6) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から4単位以上

(7) スポーツ・健康分野 2単位以上

2 専門教育科目は、次に定めるところにより合計64単位以上を修得しなければならない。

(1) ビジネス・マネジメントコース

学部共通部門10単位以上、ビジネス部門6単位以上、マネジメント部門6単位以上、演習部門8単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から34単位以上

(2) 流通・マーケティングコース

学部共通部門10単位以上、流通部門6単位以上、マーケティング部門8単位以上、演習部門8単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から32単位以上

(3) データサイエンスコース

学部共通部門10単位以上、情報システム部門2単位以上、データ解析部門2単位以上、AI部門2単位以上、コース3部門全体で12単位以上、演習部門8単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から34単位以上

(4) 国際ビジネスコース

学部共通部門10単位以上、国際ビジネス部門8単位以上、地域ビジネス部門6単位以上、演習部門8単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から32単位以上

3 上記のほか、各授業科目区分全体の中から28単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。

- 4 その他授業科目の履修については、別に定める。
- 5 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

- 1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

(2) 会計ファイナンス学科

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考	
学部共通部門	経 営 学 入 門	2	○		
	会 計 学 入 門	2	○		
	流 通 論	2			
	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2			
	デ ジ タ ル ビ ジ ネ ス 論	2			
	国 際 経 営 論	2			
	企 業 法	2			
	経 営 統 計	2			
	フ ァ イ ナ ン ス 論	2	○		
	ミ ク ロ 経 済 学	2	○		
	マ ク ロ 経 済 学	2			
学科共通部門	商 業 簿 記 初 級	2	○		
	商 業 簿 記 中 級 I	2	○		
	商 業 簿 記 中 級 II	2	○		
	上 級 簿 記 I	2	○		
	上 級 簿 記 II	2	○		
	上 級 簿 記 III	2	○		
	税 法 入 門	2	○		
	経 営 分 析 論	2	○		
アカウントティングコース	アカウントティング部門	工 業 簿 記	2		
		会 計 学 基 礎 理 論	2	○	
		財 務 諸 表 論	2	○	
		財 務 会 計 論 総 合 研 究	2		
		連 結 会 計 論	2		
		制 度 会 計 論	2		
		原 価 計 算 論 I	2	○	
		原 価 計 算 論 II	2	○	
		原 価 計 算 論 総 合 研 究	2		
		管 理 会 計 基 礎 理 論	2		
		管 理 会 計 応 用 理 論	2		
		管 理 会 計 論 総 合 研 究	2		
		会 計 監 査 論 I	2		

		会計監査論Ⅱ	2		
		会計監査論総合研究	2		
		税務会計基礎理論	2		
		税務会計応用理論	2		
		国際会計論	2		
		公会計論	2		
		社会関連会計論	2		
ファイナンスコース	ファイナンス部門	コーポレートファイナンス論Ⅰ	2	○	
		コーポレートファイナンス論Ⅱ	2	○	
		金融論	2	○	
		金融政策	2	○	
		経営財務論	2		
		金融工学	2		
		金融機関論	2		
		国際経済論	2		
		国際金融論	2		
		金融・証券市場論	2		
		証券分析論	2		
		年金・保険論	2		
		財政学	2		
		パーソナルファイナンス	2		
国際財務論	2				
ビジネスデザインコース	ビジネスデザイン部門	CSR分析論	2		
		企業価値評価論	2		
		ソーシャルデザイン	2	○	
		地域経営分析論	2		
		社会調査方法論	2		
		ケーススタディ	2		
		ビジネスデザイン	2	○	
		企業論Ⅰ	2		
		企業論Ⅱ	2		
		リスクマネジメント	2		
		経済性分析	2		
		経営戦略論Ⅰ	2		

	経営管理論 I	2		
	経営組織論 I	2		
	社会とデータサイエンス	2		
	シミュレーション論	2		
	ビジネスプランニング	2		
	ビジネスモデル論	2		
演習部門	外国書講読 I	2		
	外国書講読 II	2		
	外国書講読 III	2		
	外国書講読 IV	2		
	入門ゼミ	2		
	基礎ゼミ	2		
	専門演習 I	2	○	
	専門演習 II	2	○	
	専門演習 III	2	○	
	専門演習 IV	2	○	
卒業論文	4	○		
その他	会計学特殊講義 I	2		} 留学学修成果認定科目
	会計学特殊講義 II	2		
	会計学特殊講義 III	2		
	外国事情 I	2		
	外国事情 II	2		
	外国事情 III	2		
	外国事情 IV	2		
隣接・関連分野	産業組織論	2		
	アメリカ経済論	2		
	ヨーロッパ経済論	2		
	国際産業論	2		
	日本経済論 I	2		
	日本経済論 II	2		
	公共経済学 I	2		
	公共経済学 II	2		
	民法総則 I	2		
民法総則 II	2			

	契 約 法	2		
	企 業 取 引 法	2		
	労 働 法 I	2		
	労 働 法 II	2		
	経 済 法	2		
	知 的 所 有 権 法	2		
	消 費 者 法	2		
	金 融 商 品 取 引 法	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
	国 際 観 光 学 概 論	2		
	Global Economic Affairs	2		
	ア ジ ア 経 済 関 係 論	2		
	中 国 対 外 経 済 論	2		
科 教 目 職 課 程	教 育 方 法 論	2		
	商 業 科 教 育 法 I	2		
	職 業 指 導	1		※

卒業要件

1 共通教養科目は、次に定めるところにより合計32単位以上を修得しなければならない。

(1) 外国語分野

イ 日本人学生の場合

第1外国語(英語) 6単位以上

第2外国語(英語以外) 4単位以上

ロ 外国人留学生の場合

第1外国語(英語) 2単位以上

第2外国語(日本語) 8単位以上

(2) 数理・情報分野 4単位以上

(3) 自然分野 4単位以上

(4) 社会分野 4単位以上

(5) 人文分野 4単位以上

(6) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から4単位以上

(7) スポーツ・健康分野 2単位以上

2 専門教育科目は、次に定めるところにより合計64単位以上を修得しなければならない。

(1) アカウンティングコース

学部共通部門10単位以上、学科共通部門2単位以上、アカウンティング部門16単位以上、演習部門4単位以上、会計ファイナンス学科専門教育科目及び会計ファイナンス学科が指定する経営学科専門教育科目の中から32単位以上を含め64単位以上

(2) ファイナンスコース

学部共通部門10単位以上、学科共通部門 2 単位以上、ファイナンス部門14単位以上、演習部門 4 単位以上、会計ファイナンス学科専門教育科目及び会計ファイナンス学科が指定する経営学科専門教育科目の中から34単位以上を含め64単位以上

(3) ビジネスデザインコース

学部共通部門10単位以上、学科共通部門 2 単位以上、ビジネスデザイン部門14単位以上、演習部門 4 単位以上、会計ファイナンス学科専門教育科目及び会計ファイナンス学科が指定する経営学科専門教育科目の中から34単位以上を含め64単位以上

- 3 上記のほか、各授業科目区分全体の中から28単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 4 その他授業科目の履修については、別に定める。
- 5 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

- 1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第1項別表 現代中国学部 現代中国学科

1 共通教養科目

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考	
外国語分野	英語	R e a d i n g I	1		
		R e a d i n g II	1		
		P r a c t i c a l E n g l i s h	1		
		T O E I C I	1		
		T O E I C II	2		
		T O E I C III	2		
		C u r r e n t E n g l i s h I	2		
		C u r r e n t E n g l i s h II	2		
		W r i t i n g I	2		
		W r i t i n g II	2		
		A d v a n c e d R e a d i n g I	2		
		A d v a n c e d R e a d i n g II	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s I	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s II	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s III	2		
		C o m m u n i c a t i o n S k i l l s IV	2		
		E n g l i s h S e m i n a r I	2		
		E n g l i s h S e m i n a r II	2		
		E n g l i s h S e m i n a r III	2		
		E n g l i s h S e m i n a r IV	2		
ドイツ語		ド イ ツ 語 入 門 I	1		
		ド イ ツ 語 入 門 II	1		
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1		
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1		
		ド イ ツ 語 応 用 I	2		
		ド イ ツ 語 応 用 II	2		
		ド イ ツ 語 演 習 I	2		
		ド イ ツ 語 演 習 II	2		
		ド イ ツ 語 演 習 III	2		
		ド イ ツ 語 演 習 IV	2		

フランス語	フランス語入門 I	1		
	フランス語入門 II	1		
	フランス語基礎 I	1		
	フランス語基礎 II	1		
	フランス語応用 I	2		
	フランス語応用 II	2		
	フランス語演習 I	2		
	フランス語演習 II	2		
	フランス語演習 III	2		
	フランス語演習 IV	2		
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門 I	1		
	韓国・朝鮮語入門 II	1		
	韓国・朝鮮語基礎 I	1		
	韓国・朝鮮語基礎 II	1		
	韓国・朝鮮語応用 I	2		
	韓国・朝鮮語応用 II	2		
	韓国・朝鮮語演習 I	2		
	韓国・朝鮮語演習 II	2		
	韓国・朝鮮語演習 III	2		
	韓国・朝鮮語演習 IV	2		
ロシア語	ロシア語入門 I	1		
	ロシア語入門 II	1		
	ロシア語基礎 I	1		
	ロシア語基礎 II	1		
	ロシア語応用 I	2		
	ロシア語応用 II	2		
	ロシア語演習 I	2		
	ロシア語演習 II	2		
	ロシア語演習 III	2		
	ロシア語演習 IV	2		
タイ語	タイ語入門 I	1		
	タイ語入門 II	1		
	タイ語基礎 I	1		
	タイ語基礎 II	1		

	タ イ 語 応 用 I	2		
	タ イ 語 応 用 II	2		
	タ イ 語 演 習 I	2		
	タ イ 語 演 習 II	2		
	タ イ 語 演 習 III	2		
	タ イ 語 演 習 IV	2		
日本語	日 本 語 I	1	}	外国人留学生履修科目
	日 本 語 II	1		
	日 本 語 III	1		
	日 本 語 IV	1		
	日 本 語 V	1		
	日 本 語 VI	1		
	日 本 語 VII	1		
	日 本 語 VIII	1		
	専 門 日 本 語 I	2		
	専 門 日 本 語 II	2		
	ビ ジ ネ ス 日 本 語 I	2		
	ビ ジ ネ ス 日 本 語 II	2		
	日 本 事 情 I	2		
	日 本 事 情 II	2		
その他	世 界 の 言 語 I	2		
	世 界 の 言 語 II	2		
	世 界 の 言 語 III	2		
	世 界 の 言 語 IV	2		
	海 外 セ ミ ナ ー I	2	}	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
	海 外 セ ミ ナ ー II	2		
	海 外 セ ミ ナ ー III	2		
	海 外 セ ミ ナ ー IV	2		
	外 国 理 解 I	2	}	留学学修成果認定科目
	外 国 理 解 II	2		
	外 国 理 解 III	2		
	外 国 理 解 IV	2		
数理・情報	デ ー タ サ イ エ ン ス 入 門	2		
	情 報 リ テ ラ シ ー ・ 入 門	1		
	情 報 リ テ ラ シ ー ・ 応 用	1		

分野	情報倫理	2		
	情報デザイン	2		
	情報の科学	2		
	情報と社会	2		
	コンピュータ科学の基礎	2		
	社会データ分析入門	2		
	プレゼンテーション技術	2		
	プログラミング	2		
	数理学入門	2		
	数理学基礎	2		
	確率論入門	2		
	確率論基礎	2		
	統計学入門	2		
	統計学基礎	2		
自然分野	地球の科学	2		
	宇宙の科学	2		
	生命の科学	2		
	物質の科学	2		
	科学と社会	2		
	環境の科学	2		
	自然環境と地理	2		
	行動生態学	2		
	健康と栄養	2		
	健康と運動の科学	2		
	スポーツと動きの科学	2		
社会分野	憲法	2		
	法学	2		
	政治学	2		
	経済学	2		
	国際関係論	2		
	社会学	2		
	現代社会学論	2		
	社会思想史	2		
	歴史学	2		
	経営学	2		

人文分野	哲			学	2		
	現	代	の	想	2		
	言	語	と	間	2		
	民	族	と	化	2		
	民	族	と	家	2		
	宗		教	学	2		
	心		理	学	2		
	異	文	化	解	2		
	倫	理	学	論	2		
	文			学	2		
	美	術	と	間	2		
映	画	と	間	2			
音	楽	と	間	2			
演	劇	と	間	2			
総合	総	合	科	目	2		
	総	合	演	習	2		
	総	合	演	習	2		
	総	合	演	習	2		
	総	合	演	習	2		
	キ	ャ	リ	ア	2		
	デ	ザ	イ	ン	2		
	キ	ャ	リ	ア	2		
	デ	ザ	イ	ン	2		
	自	治	体	首	2		
	長	講	義		2		
	キ	ャ	リ	ア	2		
	デ	ザ	イ	ン	2		
日	本	理	解	2			
日	本	理	解	2			
日	本	発	信	2			
日	本	発	信	2			
スポーツ・健康分野	ス	ポ	ー	ツ	2		
	ス	ポ	ー	ツ	1		
	ス	ポ	ー	ツ	1		
	ス	ポ	ー	ツ	1		
	ス	ポ	ー	ツ	1		

2 専門教育科目

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考
専門共通部門	現 代 中 国 入 門	2	○	
	現 代 中 国 学 総 論	2	○	
	中 国 経 済 概 説	2	○	
	中 国 語 学 概 説	2	○	
	日 中 関 係 論	2	○	
	中 国 地 理	2		
	中 国 思 想 概 説	2		
	中 国 文 学 概 説	2		
	中 国 近 代 史	2		
	中 華 人 民 共 和 国 史	2		
	中 国 社 会 論	2		
	中 国 法 概 説	2		
	国 際 文 化 論	2		
	東アジアポップカルチャー	2		
	中 国 デ ー タ 分 析	2		
	現 代 中 国 学 特 殊 講 義	2		
	相 互 交 流 入 門	2		
	国 際 共 同 学 習	2		
ビジネス部門	中 国 製 造 業 論	2		
	中 国 サ ー ビ ス 産 業 論	2		
	中 国 政 治 論	2		
	中 国 農 業 経 済 論	2		
	中 国 対 外 経 済 論	2		
	ア ジ ア 社 会 論	2		
	ア ジ ア 経 済 関 係 論	2		
	日 中 ビ ジ ネ ス 論	2		
	日 中 ビ ジ ネ ス 特 殊 講 義	2		
	中 国 情 報 産 業 論	2		
	東アジアツーリズム論	2		
	国 際 経 済 学 概 説	2		
	中 国 法 社 会 論	2		

言語文化部門	中国現代文学史	2		
	中国語表現論	2		
	中国語文法論	2		
	中国語語彙論	2		
	中国語方言Ⅰ	2		
	中国語方言Ⅱ	2		
	中国語方言Ⅲ	2		
	中国語方言Ⅳ	2		
	中国前近代史	2		
	中国現代文学論	2		
	東アジア現代文学論	2		
	東アジア芸術論	2		
	東アジア文化論	2		
	中国教育論	2		
	中国社会文化論	2		
	日中比較文化論	2		
	中国文化特殊講義	2		
国際関係部門	日本外交論	2		
	東アジア国際政治論	2		
	アジア経済関係論	2		
	アジア社会論	2		
	中国外交論	2		
	中国政治論	2		
	中国前近代史	2		
	国際経済学概説	2		
	中国民族論	2		
	中国社会文化論	2		
	中国近代思想史	2		
	中国法社会論	2		
	東アジアツーリズム論	2		
	東アジア国際関係特殊講義	2		
中国語強化	中国語プレゼンテーションⅠ	2		
	中国語プレゼンテーションⅡ	2		
	上級中国語Ⅰ	2		

部門	上級中国語Ⅱ	2		
	日中通訳実践	2		
	日本語表現	2		
外国 書講 読	外国書講読Ⅰ	2		
	外国書講読Ⅱ	2		
語学部門	中国語リスニングⅠ	1	○	現地プログラム
	中国語リスニングⅡ	1	○	
	基礎中国語Ⅰ	1	○	
	基礎中国語Ⅱ	1	○	
	基礎中国語Ⅲ	1	○	
	基礎中国語Ⅳ	1	○	
	基礎中国語Ⅴ	1	○	
	基礎中国語Ⅵ	1	○	
	基礎中国語Ⅶ	1	○	
	基礎中国語Ⅷ	1	○	
	応用中国語Ⅰ	2	○	
	応用中国語Ⅱ	2	○	
	応用中国語Ⅲ	2	○	
	応用中国語Ⅳ	2	○	
	応用中国語Ⅴ	2	○	
	応用中国語Ⅵ	2	○	
	応用中国語Ⅶ	2	○	
	応用中国語Ⅷ	2	○	
	コミュニケーション中国語Ⅰ	2	○	
	コミュニケーション中国語Ⅱ	2	○	
日中ビジネス会話Ⅰ	2			
日中ビジネス会話Ⅱ	2			
演習部門	入門演習	2		
	基礎演習	2		
	専門演習Ⅰ	2	○	
	専門演習Ⅱ	2	○	
	専門演習Ⅲ	2	○	
	専門演習Ⅳ	2	○	
	卒業業研究	4	○	

部グ現 門ラ地 ムプ ロ	現地プログラム事前教育 現地ライフレポート 中国文化講座 現代中国社会論	2 1 2 2		} 現地プログラム	
査現 部地 門調	調査資料講読 現地研究調査基礎 現地研究調査・報告	2 2 4			
連シタ現 部ッー地 門プーイ 関ン	現地インターンシップ事前研修 現地インターンシップ実践 現地インターンシップ研究報告	2 2 2			
隣 接・ 関 連 分 野	国際法総論Ⅰ 国際法総論Ⅱ マクロ経済学入門 ミクロ経済学入門 財政学Ⅰ 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 中国ビジネス論 中国国際経営論 国際マーケティング論 会計学入門 Business EnglishⅠ 外国事情Ⅰ 外国事情Ⅱ 外国事情Ⅲ 外国事情Ⅳ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
教 職 課 程 科 目	教育方法論 社会科・地歴科教育法 中国語科教育法 日本史 外国史 地理学通論 地誌学 社会学概論	2 2 2 1 1 1 1 1		※ ※ ※ ※ ※	

- | | | |
|---|-------------------------------|--------|
| | 日本事情 | 4単位 |
| ロ | 数理・情報分野 | 2単位以上 |
| ハ | 自然分野 | 2単位以上 |
| ニ | 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から | 12単位以上 |
| ホ | スポーツ・健康分野 | 2単位以上 |
- (2) 専門教育科目は、次に定めるところにより合計50単位以上を修得しなければならない。
- | | | |
|---|--|--------|
| イ | ビジネスコース | |
| a | 専門共通部門 | 14単位以上 |
| b | ビジネス部門 | 12単位以上 |
| c | ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から | 12単位以上 |
| d | 演習部門 | 12単位以上 |
| ロ | 言語文化コース | |
| a | 専門共通部門 | 14単位以上 |
| b | 言語文化部門 | 12単位以上 |
| c | ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から | 12単位以上 |
| d | 演習部門 | 12単位以上 |
| ハ | 国際関係コース | |
| a | 専門共通部門 | 14単位以上 |
| b | 国際関係部門 | 12単位以上 |
| c | ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から | 12単位以上 |
| d | 演習部門 | 12単位以上 |
- (3) 上記のほか、各授業科目区分全体の中から41単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。
- (4) 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

3 中国語以外を母語とする外国人留学生

- (1) 共通教養科目は、次に定めるところにより合計30単位以上を修得しなければならない。
- | | | | |
|---|-------------------------------|------|--------|
| イ | 外国語分野 | 日本語 | 8単位以上 |
| | | 日本事情 | 4単位 |
| ロ | 数理・情報分野 | | 2単位以上 |
| ハ | 自然分野 | | 2単位以上 |
| ニ | 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から | | 12単位以上 |
| ホ | スポーツ・健康分野 | | 2単位以上 |
- (2) 専門教育科目は、次に定めるところにより合計80単位以上を修得しなければならない。
- | | | |
|---|---------|--------|
| イ | ビジネスコース | |
| a | 専門共通部門 | 14単位以上 |
| b | ビジネス部門 | 12単位以上 |

- c ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
- d 語学部門 30単位以上
- e 演習部門 12単位以上
- ロ 言語文化コース
 - a 専門共通部門 14単位以上
 - b 言語文化部門 12単位以上
 - c ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
 - d 語学部門 30単位以上
 - e 演習部門 12単位以上
- ハ 国際関係コース
 - a 専門共通部門 14単位以上
 - b 国際関係部門 12単位以上
 - c ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
 - d 語学部門 30単位以上
 - e 演習部門 14単位以上

(3) 上記のほか、各授業科目区分全体の中から14単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。

(4) 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

- 1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第3項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第1項別表 地域政策学部 地域政策学科

1 共通教養科目

授 業 科 目		単位数	主要授業科目	備 考	
外国語分野	英語	Communicative English I	1		
		Communicative English II	1		
		R e a d i n g I	1		
		T O E I C	1		
		Practical English I	1		
		Practical English II	1		
		R e a d i n g II	1		
		R e a d i n g III	1		
		Current English I	2		
		Current English II	2		
		Communication Skills I	2		
		Communication Skills II	2		
		Communication Skills III	2		
		Communication Skills IV	2		
	中国語	入 門 中 国 語 I	1		
		入 門 中 国 語 II	1		
		基 礎 中 国 語 I	1		
		基 礎 中 国 語 II	1		
		応 用 中 国 語 I	1		
		応 用 中 国 語 II	1		
		総 合 中 国 語 I	1		
		総 合 中 国 語 II	1		
		中国語会話（初級）I	1		
		中国語会話（初級）II	1		
		中国語会話（中級）I	1		
		中国語会話（中級）II	1		
		コミュニケーション中国語IA	2		
		コミュニケーション中国語IB	2		
コミュニケーション中国語IIA	2				

		コミュニケーション中国語ⅡB	2		
	フランス語	入門 フランス語Ⅰ	1		
		入門 フランス語Ⅱ	1		
		基礎 フランス語Ⅰ	1		
		基礎 フランス語Ⅱ	1		
		応用 フランス語Ⅰ	1		
		応用 フランス語Ⅱ	1		
		総合 フランス語Ⅰ	1		
		総合 フランス語Ⅱ	1		
		フランス語会話(初級)Ⅰ	1		
		フランス語会話(初級)Ⅱ	1		
		フランス語会話(中級)Ⅰ	1		
		フランス語会話(中級)Ⅱ	1		
		コミュニケーションフランス語ⅠA	2		
		コミュニケーションフランス語ⅠB	2		
		コミュニケーションフランス語ⅡA	2		
	コミュニケーションフランス語ⅡB	2			
外国語分野	ドイツ語	入門 ドイツ語Ⅰ	1		
		入門 ドイツ語Ⅱ	1		
		基礎 ドイツ語Ⅰ	1		
		基礎 ドイツ語Ⅱ	1		
		応用 ドイツ語Ⅰ	1		
		応用 ドイツ語Ⅱ	1		
		総合 ドイツ語Ⅰ	1		
		総合 ドイツ語Ⅱ	1		
		ドイツ語会話(初級)Ⅰ	1		
		ドイツ語会話(初級)Ⅱ	1		
	ロシア語	入門 ロシア語Ⅰ	1		
		入門 ロシア語Ⅱ	1		
		基礎 ロシア語Ⅰ	1		
		基礎 ロシア語Ⅱ	1		

韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1		
	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1		
	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1		
	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1		
ポルトガル語	入門ポルトガル語Ⅰ	1		
	入門ポルトガル語Ⅱ	1		
	基礎ポルトガル語Ⅰ	1		
	基礎ポルトガル語Ⅱ	1		
日本語	日本語・表現Ⅰ	1		外国人留学生履修科目
	日本語・表現Ⅱ	1		
	日本語・論文技術(基礎)Ⅰ	1		
	日本語・論文技術(基礎)Ⅱ	1		
	日本語・総合Ⅰ	1		
	日本語・総合Ⅱ	1		
	日本語・論文技術(応用)Ⅰ	1		
	日本語・論文技術(応用)Ⅱ	1		
	アカデミック日本語Ⅰ	2		
	アカデミック日本語Ⅱ	2		
	ビジネス日本語Ⅰ	2		
	ビジネス日本語Ⅱ	2		
	日本事情Ⅰ	2		
	日本事情Ⅱ	2		
外国理解	世界の言語Ⅰ	2		海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
	世界の言語Ⅱ	2		
	ラテン語Ⅰ	2		
	ラテン語Ⅱ	2		
	ギリシヤ語Ⅰ	2		
	ギリシヤ語Ⅱ	2		
	海外セミナーⅠ	2		
	海外セミナーⅡ	2		
	海外セミナーⅢ	2		
	海外セミナーⅣ	2		

	外国理解 I	2	留学学修成果認定科目
	外国理解 II	2	
	外国理解 III	2	
	外国理解 IV	2	
数理・情報分野	データサイエンス入門	2	
	教養数学	2	
	数理学入門	2	
	数理学基礎	2	
	確率論入門	2	
	確率論基礎	2	
	統計学入門	2	
	統計学基礎	2	
	情報倫理	2	
	情報デザイン	2	
	社会データ分析入門	2	
	プログラミング	2	
	情報の科学	2	
	情報と社会	2	
情報リテラシー・入門	1		
情報リテラシー・応用	1		
自然分野	物質の科学	2	
	地球の科学	2	
	宇宙の科学	2	
	生命の科学	2	
	環境の科学	2	
	科学と社会	2	
	自然環境と地理	2	
	行動生態学	2	
	健康科学	2	
	スポーツ工学	2	
	トレーニング科学	2	

社会分野	歴史学	2		
	考古学	2		
	地理学	2		
	社会学	2		
	政治学	2		
	経済学	2		
	法学	2		
	経営学	2		
	憲法	2		
	レクリエーション論	2		
ジェンダー論	2			
人文分野	哲学	2		
	理論	2		
	宗	2		
	心	2		
	文化人類学	2		
	現代の思想	2		
	民俗学	2		
	スポーツ文化論	2		
	文学	2		
	日本語学	2		
	古典の世界	2		
	言語と文化	2		
	芸術論	2		
総合	総合科目	2		
	総合演習Ⅰ	2		
	総合演習Ⅱ	2		
	総合演習Ⅲ	2		
	総合演習Ⅳ	2		
	キャリアデザイン基礎	2		
	キャリアデザイン応用	2		
	自治体首長講義	2		

	キャリアデザイン特殊講義	2		
	日本理解 I	2		
	日本理解 II	2		
	日本発信基礎	2		
	日本発信応用	2		
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2		
	スポーツ実技 I	1		
	スポーツ実技 II	1		
	スポーツ実技 III	1		
	スポーツ実技 IV	1		

2 専門教育科目

授業科目		単位数	主要授業科目	備考	
演習科目群	学 習 法	2	○		
	アカデミック・ライティング	2	○		
	研 究 法	2	○		
	ゼミナール I	2	○		
	ゼミナール II	2	○		
	ゼミナール III	2	○		
	ゼミナール IV	2	○		
	ゼミナール V	2	○		
卒業 業 研 究	4	○			
基幹科目群	政策分野科目	地域政策入門	2	○	
		現代日本の政治学	2		
		行政政治学	2		
		公共政策論	2		
		政策過程論	2		
		政策評価論	2		
		地方自治論	2		
		地方自治法	2		
		都市政策論	2		
		国土計画論	2		
		都市計画学	2		
		少子高齢社会論	2		
		現代経済事情	2		
		理論経済学	2		
		経済原論	2		
		財政学	2		
		金融論	2		
		地方財政論	2		
		リスクコミュニケーション	2		
	データ分析論	2			
基幹科目群		地域学概論	2		
		公務員論	2		
		自然環境論	2		
		地域貢献論 特殊講義	2		
		社会調査概論	2		
		地域統計論	2		

地域関連科目	地域コミュニティ論	2		
	地域管理論	2		
	企業と経営	2		
	インターンシップ	4		
	地域ブランディング論	2		
	東海地域の今日的課題	2		
	地域政策学特殊講義	2		
	都市の見方・考え	2		
	G I S 概論	2		
	G I S 演習 I	2		
	G I S 演習 II	2		
	地域政策とGIS活用	2		
公共政策系科目	公共政策入門	2	○	
	地方自治体論	2		
	経済政策論	2		
	社会福祉政策論	2		
	保健医療政策論	2		
	労働政策論	2		
	ツリーズム政策論	2		
	スポーツ政策論	2		
	環境政策論	2		
	政策法務論	2		
	地域農業政策論	2		
	国際通商政策論	2		
	交通運輸政策論	2		
	災害と防災	2		
	N P O 論	2		
多文化共生論	2			
文化政策論	2			
展開科目群 経済産業系科目	経済産業入門	2	○	
	中小企業論	2		
	国際ビジネス論	2		
	日本経済史	2		
	マーケティング論	2		
	ソーシャル・ビジネス論	2		
	経済政策論	2		
	6次産業化論	2		
	国際経済論	2		
	産業界技術論	2		
	地域農業政策論	2		
	地域イノベーション論	2		
地域金融論	2			

	企業発展論	2		
	東アジア経済事情	2		
	農業経営論	2		
	協同組合論	2		
	地域産業史	2		
	国際通商政策論	2		
	まちづくり・文化入門	2	○	
	まちづくりとデータ分析	2		
	生涯学習論	2		
	ツーリズム政策論	2		
	ツーリズム文化論	2		
	地域デザイン論	2		
	英米の地域と文化	2		
	地域の食文化	2		
	博物館概論	2		
	ミュージアム展示論	2		
	文化情報・メディア論	2		
	アートマネジメント概論	2		
	地域生活史	2		
	文化政策論	2		
	多文化共生論	2		
	観光まちづくり論	2		
	農山村振興論	2		
	地域資源論	2		
	地域イノベーション論	2		
	GIS特論	2		
	健康・スポーツ入門	2	○	
	スポーツ政策論	2		
	健康行動論	2		
	スポーツ社会学	2		
	スポーツ生理学	2		
	セーフティ・マネジメント	2		
	アダプテッド・スポーツ論	2		
	アダプテッド・スポーツ演習	2		
	保健医療政策論	2		
	スポーツ・バイオメカニクス	2		
	スポーツ指導論	2		
	スポーツ心理学	2		
	スポーツ経営学	2		
	スポーツクラブ運営論	2		
	スポーツ・マネジメント論	2		
	レジャー・レクリエーション演習	2		
展開科目群				

食農環境系科目	食 農 環 境 入 門	2	○	
	地 域 農 業 政 策 論	2		
	食 品 加 工 論	2		
	食 品 安 全 政 策 論	2		
	6 次 産 業 化 論	2		
	フ ー ド シ ス テ ム 論	2		
	地 域 の 食 文 化 論	2		
	環 境 政 策 論	2		
	食 農 環 境 演 習 I	4	○	
	農 業 経 営 論	2		
	森 林 政 策 論	2		
農 山 村 振 興 論	2			
水 産 資 源 論	2			
食 農 環 境 演 習 II	4			
隣接・関連科目群	異文化間コミュニケーション	2		
	地域分析学	2		
	地域図学	2		
	歴史地理学	2		
	自然地理学	2		
教職課程科目	日本史	2		※
	外国史	2		※
	地理学通論	1		※
	地理学誌	1		※

卒業要件

- 1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計 38 単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 外国語分野 必修外国語として第 1 外国語 8 単位、第 2 外国語 4 単位、計 2 カ国語 12 単位
 - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各 4 単位計 16 単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から 24 単位
 - (3) スポーツ・健康分野 2 単位
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計 66 単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 演習科目群 20 単位
 - (2) 基幹科目群 政策分野科目 14 単位、地域関連科目 8 単位、計 22 単位
 - (3) 展開科目群
 - イ 公共政策コース 公共政策系科目から 16 単位
 - ロ 経済産業コース 経済産業系科目から 16 単位
 - ハ まちづくり・文化コース まちづくり・文化系科目から 16 単位
 - ニ 健康・スポーツコース 健康・スポーツ系科目から 16 単位
 - ホ 食農環境コース 食農環境系科目から 16 単位
 - (4) 上記のほかに、隣接・関連科目群を除く専門教育科目全体の中から 8 単位
- 3 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から 20 単位以上を修得しなければならない。
- 4 その他授業科目の履修については、別に定める。
- 5 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含めない。

備考

- 1 教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第 18 条第 3 項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。
- 2 司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第 19 条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員の資格を得ようとする者は、学則第 20 条別表に掲げるところにより、所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第18条第2項別表 教育職員免許状の認定課程及び免許状の種類

正規の課程を置く学部・学科等		免許状の種類	
学部	学科等（正規の課程）	中学校教諭1種 免許状の教科	高等学校教諭1種 免許状の教科
文学部	人文社会学科	社会	公民
		外国語 （英語）	外国語 （英語）
	歴史地理学科	社会	地理歴史
	日本語日本文学科	国語	国語
経済学部	経済学科	社会	地理歴史
			公民
			商業
国際コミュニケーション学部	英語学科	外国語 （英語）	外国語 （英語）
	国際教養学科	社会	地理歴史
	公民		
法学部	法学科	社会	地理歴史
			公民

経営学部	経営学科	社 会	地 理 歴 史
			公 民
		商 業	
		情 報	
	会計ファイナンス学科	商 業	
現代中国学部	現代中国学科	社 会	地 理 歴 史
			公 民
		外 国 語 (中 国 語)	外 国 語 (中 国 語)
地域政策学部	地域政策学科	社 会	地 理 歴 史
			公 民

第18条第3項別表 教科及び教職に関する科目の授業科目表

授 業 科 目	単位数	備 考
国 語 科 教 育 法	2	
国 語 科 指 導 法 I	2	
国 語 科 指 導 法 II	2	
国 語 科 指 導 法 III	2	
英 語 科 教 育 法	2	
英 語 科 指 導 法 I	2	
英 語 科 指 導 法 II	2	
英 語 科 指 導 法 III	2	
社 会 科 ・ 地 歴 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 地 歴 科 指 導 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 法	2	
中 国 語 科 教 育 法	2	
中 国 語 科 指 導 法 I	2	
中 国 語 科 指 導 法 II	2	
中 国 語 科 指 導 法 III	2	
商 業 科 教 育 法 I	2	
商 業 科 教 育 法 II	2	
情 報 科 教 育 法 I	2	
情 報 科 教 育 法 II	2	
教 育 原 論	2	
学 校 と 教 育 の 歴 史	2	
教 職 入 門	2	
教 育 制 度 論	2	
教 育 社 会 学	2	
教 育 心 理 学	2	
特 別 支 援 教 育 概 論	1	
教 育 課 程 論	2	
道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	2	
総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 理 論 と 方 法	2	

特別活動の理論と方法	2
教育方法論	2
ICTを活用した教育の理論と方法	1
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教育実習 I	2
教育実習 II	3
教育実習 III	5
教職実践演習（中・高）	2
子ども指導実践	2
教育問題研究 I	2
教育問題研究 II	2
教育問題研究 III	2
教育問題研究 IV	2
教育問題研究 V	2
教育問題研究 VI	2
小中学校連携教育論 I	2
小中学校連携教育論 II	2
小中学校連携教育論 III	2
小中学校連携教育論 IV	2

備考

上記の他、教科に関する専門的事項の授業科目及びその単位数は第14条別表の定めるところによる。

第19条第1項別表 司書及び司書教諭に関する授業科目表

- 1 司書に関する専門教育科目（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部）

	授 業 科 目	単位数	備 考
必修科目	生涯学習概論 I	2	} いずれか1科目
	生涯学習概論 II	2	
	図書館概論	2	
	情報政策	2	
	図書館情報サービス I	2	
	図書館情報サービス II	2	
	情報サービス演習 I	1	
	情報サービス演習 II	1	
	図書館情報技術	2	
	図書館情報資源論	2	
	情報資源組織 I	2	
	情報資源組織 II	2	
	情報資源組織演習 I	1	
	情報資源組織演習 II	1	
	児童サービス論	2	
	情報資源各論 I	2	} いずれか1科目
情報資源各論 II	2		
選択科目	図書館情報・メディア史	2	} いずれか1科目
	専門情報特講 I	2	
	専門情報特講 II	2	
	専門情報特講 III	2	
	専門情報特講 IV	2	

備考

- 1 司書の資格を得ようとする者は、必修科目は26単位、選択科目は2科目4単位以上、計30単位以上を修得しなければならない。

2 司書教諭に関する専門教育科目（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部）

授 業 科 目	単位数	備 考
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2	
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2	
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2	
読 書 と 豊 かな 人 間 性	2	
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2	

備考

- 1 司書教諭の資格を得ようとする者は、10単位を修得しなければならない。

第20条第1項別表 学芸員に関する授業科目表

授 業 科 目		単位数	備 考
必修科目	生涯学習概論 I	2	} いずれか必修
	生涯学習概論 II	2	
	博物館概論	2	
	博物館資料論	2	
	博物館経営論	2	
	文化情報・メディア論	2	
	博物館資料保存論	2	
	ミュージアム展示論	2	
	博物館実習 I	2	
	博物館実習 II	2	
博物館教育論	2		
選択科目	(文化史関係)		
	日本文化史 I	2	
	日本文化史 II	2	
	ヨーロッパ文化論	2	
	英米の地域と文化	2	
	歴史学	2	
	地域生活史	2	
	(美術史関係)		
	芸術史	2	
	書画論 I	2	
	書画論 II	2	
	異文化芸術論	2	
	芸術論	2	
	東アジア芸術論	2	
	(考古学関係)		
	日本考古学 I	2	
	日本考古学 II	2	
	外国考古学 I	2	
外国考古学 II	2		
考古学	2		

	(民俗学関係)		
日	本	民	俗学 2
地	域	の	食文化 2
民		俗	学 2
文	化	人	類学 2
	(地学関係)		
自	然	地	理学 2

備考

- 1 学芸員の所要資格を得ようとする者は、必修科目は10科目20単位以上、選択科目は3関係以上にわたり12単位以上、計32単位以上を修得しなければならない。

第 24 条別表 卒業必要単位数

学部		科目	共通教養 科目	専門教育 科目	自由選択	計
文学部	人文社会学科		44	62	18	124
	心理学科					
	歴史地理学科					
	日本語日本文学科					
経済学部			36	74	14	124
国際コミュニケーション学部	英語学科	日本人学生	32	52	40	124
		外国人留学生	36		36	
	国際教養学科	日本人学生	32	60	32	
		外国人留学生	36		28	
法学部	日本人学生		32	70	22	124
	外国人留学生					
経営学部			32	64	28	124
現代中国学部	日本人学生		21	80	23	124
	中国語を母語とする外国人留学生		33	50	41	
	中国語以外を母語とする外国人留学生		30	80	14	
地域政策学部			38	66	20	124

備考

自由選択：各学部の各授業科目区分全体の中から、それぞれ修得しなければならない。

第26条第2項別表 学位の名称

学 部	学 科	専 攻 分 野 の 名 称
文 学 部	人 文 社 会 学 科	学士 (文 学) 又は 学士 (社会学)
	心 理 学 科	学士 (心理学)
	歴 史 地 理 学 科	学士 (文 学)
	日 本 語 日 本 文 学 科	学士 (文 学)
経 済 学 部	経 済 学 科	学士 (経済学)
国際コミュニケーション 学 部	英 語 学 科	学士 (外国語)
	国 際 教 養 学 科	学士 (国際教養学)
法 学 部	法 学 科	学士 (法 学)
経 営 学 部	経 営 学 科	学士 (経営学)
	会 計 フ ァ イ ナ ン ス 学 科	学士 (経営学)
現 代 中 国 学 部	現 代 中 国 学 科	学士 (現代中国学)
地 域 政 策 学 部	地 域 政 策 学 科	学士 (地域政策学)

第 48 条第 3 項別表 協定留学生に関する授業科目表

授業科目	単位数	備考
日本語Ⅰ	1	
日本語Ⅱ	1	
日本語Ⅲ	1	
日本語Ⅳ	1	
日本語Ⅴ	1	
日本語Ⅵ	1	
日本語Ⅶ	1	
日本語Ⅷ	1	